

平成24年度 市民意識調査結果

湖西市

目次

1	調査の概要	1
	① 調査の概要	
	② 調査結果の見方	
2	回答者の属性	2
3	湖西市の印象について	5
4	市政について	11
5	防災について	33

1 調査の概要

① 調査の概要

◆調査目的

市の施策に対する市民の方の意向等を把握し、今後の市政運営の参考とすることを目的として、以下のとおりアンケートを実施しました。

◆調査項目

- ・回答者について
- ・湖西市の全体の印象について
- ・市政について
- ・防災について

◆調査対象

湖西市在住の16歳以上の住民から無作為に抽出した1,500人

◆調査方法

郵送による配布・回収

◆調査期間

平成25年1月15日～平成25年1月31日

◆回収状況

- ・配布数 1,500票
- ・有効回収数 779票
- ・有効回収率 51.9%

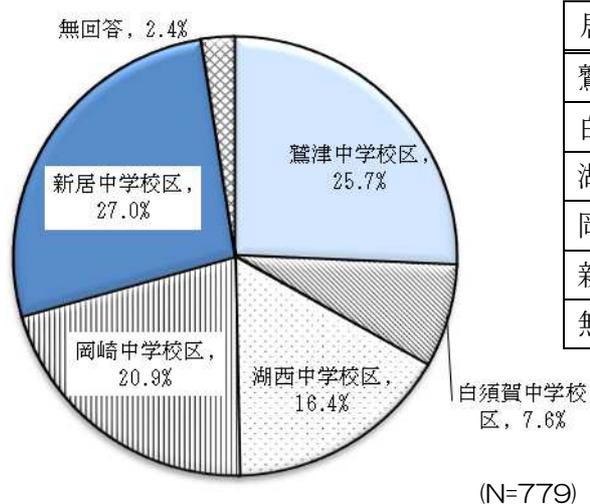
② 調査結果の見方

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- 1人の回答者が複数回答する設問では、「複数回答」と表示しています。この場合、その比率の合計は100.0%を上回ることがあります。

2 回答者の属性

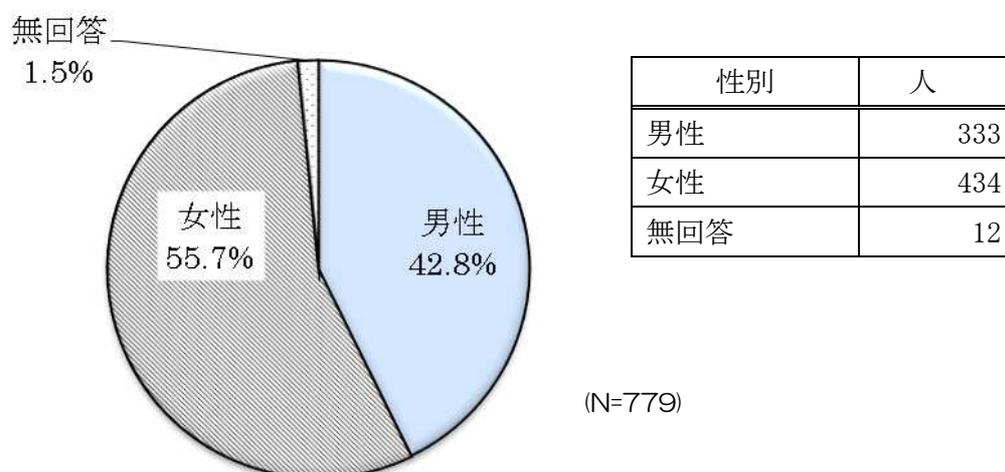
ア. 居住地区

「新居中学校区」(27.0%)が最も多く、次いで「鷺津中学校区」(25.7%)、「岡崎中学校区」(20.9%)、「湖西中学校区」(16.4%)、「白須賀中学校区」(7.6%)となっています。



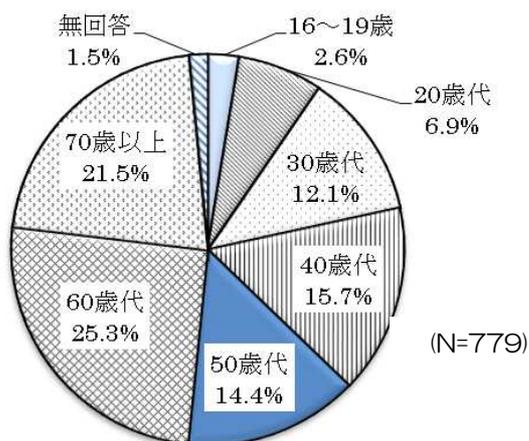
イ. 性別

「女性」(55.7%)、「男性」(42.8%)となっています。



ウ. 年齢

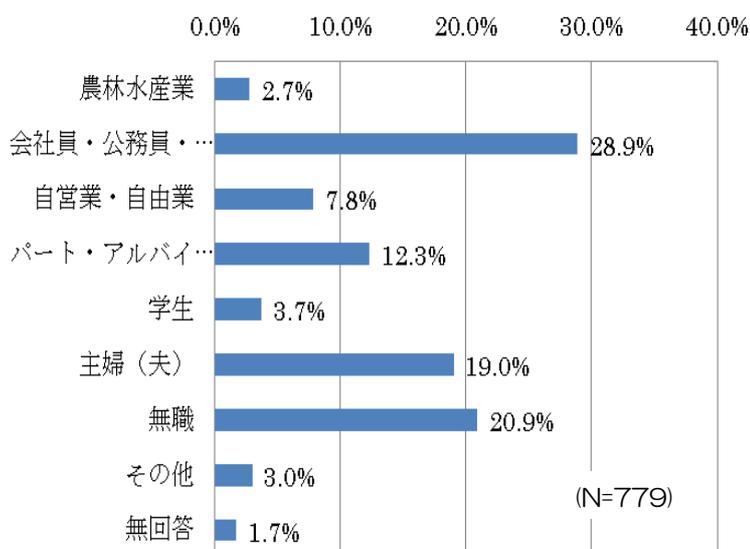
「60歳代以上」(25.3%)が最も多く、次いで「70歳代」(21.5%)、「40歳代」(15.7%)、「50歳代」(14.4%)となっています。



年齢別	人
16~19歳	20
20歳代	54
30歳代	94
40歳代	122
50歳代	112
60歳代	197
70歳以上	168
無回答	12

エ. 職業

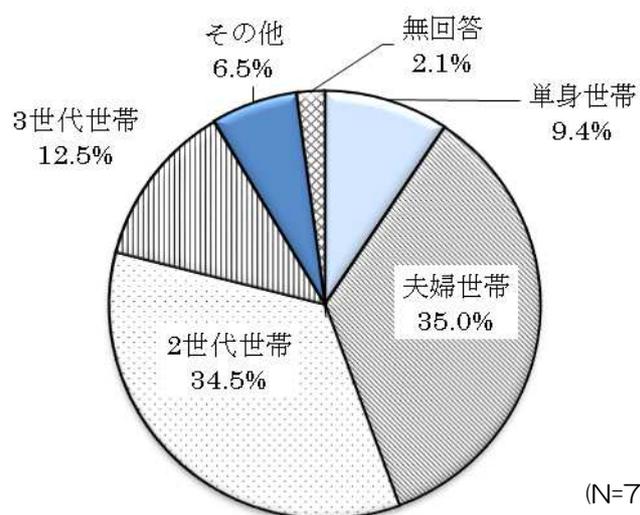
「会社員・公務員・教員」(28.9%)が最も多く、次いで「無職」(20.9%)、「主婦(夫)」(19.0%)となっています。



職業	人
農林水産業	21
会社員・公務員・教員	225
自営業・自由業	61
パート・アルバイトなど	96
学生	29
主婦(夫)	148
無職	163
その他	23
無回答	13

才. 家族構成

「夫婦世帯」(35.0%)が最も多く、次いで「2世代世帯」(34.5%)、「3世代世帯」(12.5%)となっています。



家族構成	人
単身世帯	73
夫婦世帯	273
2世代世帯	269
3世代世帯	97
その他	51
無回答	16

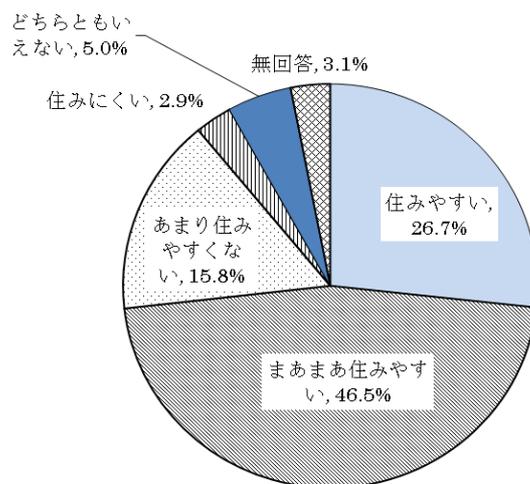
(N=779)

3 湖西市の印象について

設問1 湖西市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つ)

◆「住みやすい」、「まあまあ住みやすい」と答えた人は、合わせて 73.2%

全体でみると「住みやすい」(26.7%)、「まあまあ住みやすい」(46.5%)、合わせて73.2%が『住みやすい』と回答しています。

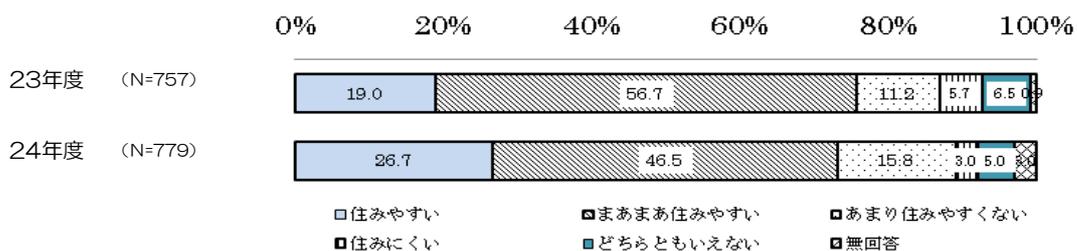


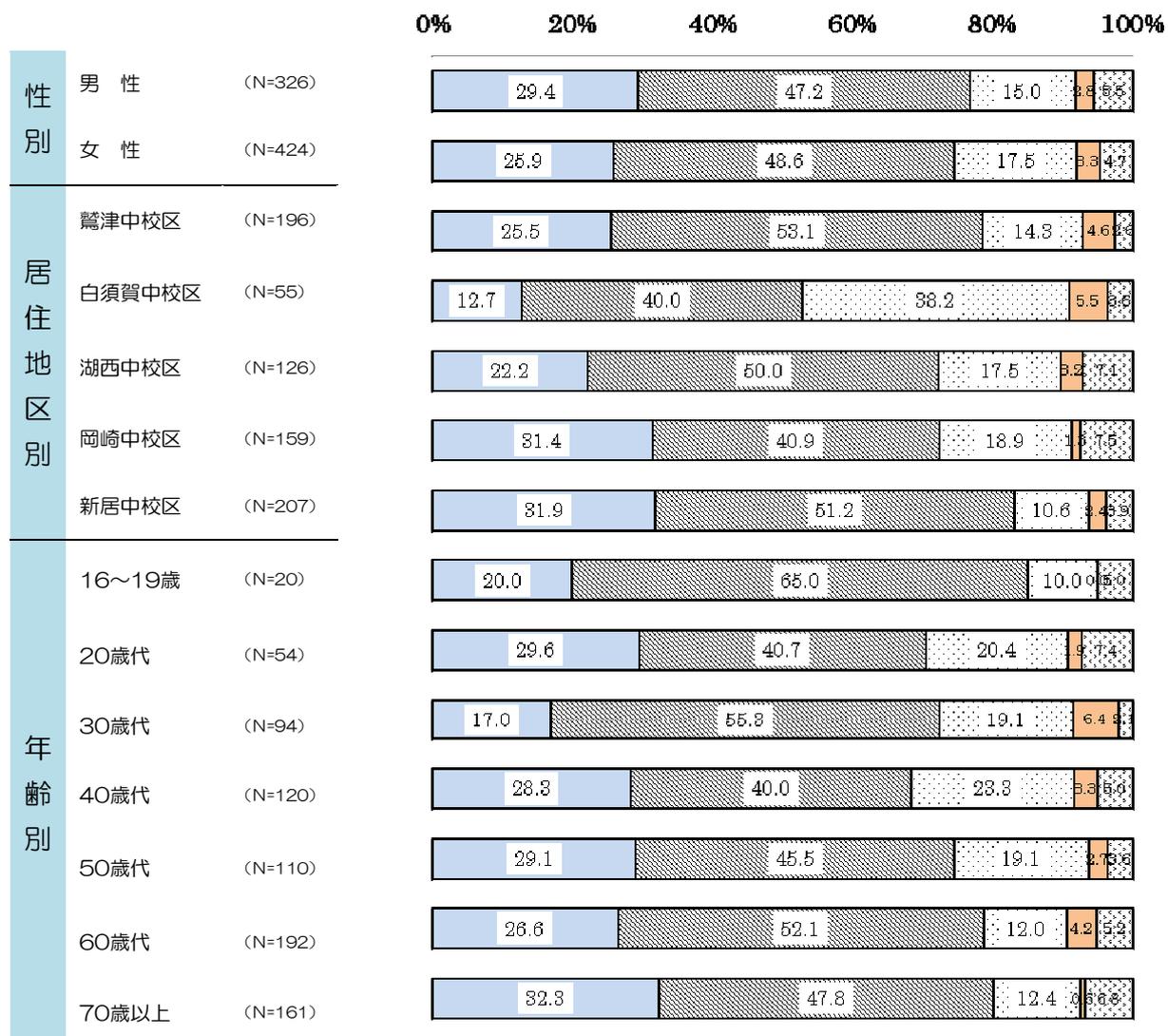
住みやすい	208人	26.7%
まあまあ住みやすい	362人	46.5%
あまり住みやすくない	123人	15.8%
住みにくい	23人	3.0%
どちらともいえない	39人	5.0%
無回答	24人	3.1%

◆時系列比較

「時系列」でみると、「住みやすい」は23年度調査(19.0%)から24年度調査(26.7%)で7.7ポイント高くなりました。

一方、「住みやすい」「まあまあ住みやすい」を合わせた『住みやすい』の割合は、前年度比で2.5ポイント低くなりました。





※無回答の値は表記なし

住みやすい まあまあ住みやすい
 あまり住みやすくない 住みにくい
 どちらともいえない

◆性別

「性別」でみると、男女による大きな差はみられず、男性・女性とも約75%の市民が『住みやすい』（「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合計）と回答しています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、『住みやすい』の割合は、新居中学校区（83.1%）、鷺津中学校区（78.6%）で高く、白須賀中学校区（52.7%）で低くなっています。

◆年齢別

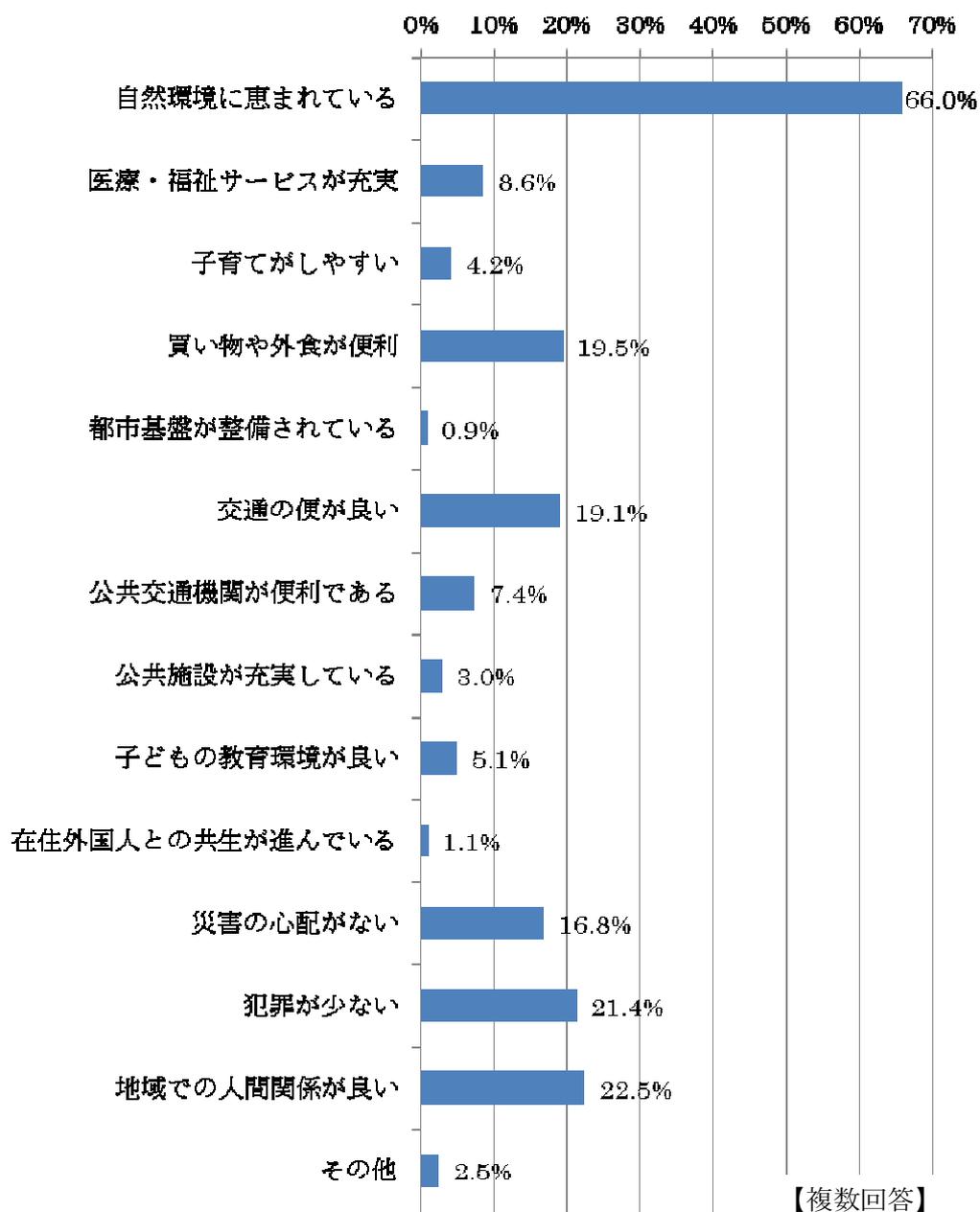
「年齢別」でみると、『住みやすい』の割合は、16~19歳（85.0%）、70歳以上（80.1%）で高く、40代（68.3%）で低くなっています。

設問1-1 住みやすい理由は何ですか。(〇は2つまで)

※設問1で「住みやすい」、「まあまあ住みやすい」と回答いただいた方にお尋ねしました。

◆ 住みやすい理由は、「自然環境に恵まれている」が66.0%

住みやすい理由は、「自然環境に恵まれている」(66.0%)が最も多く、次いで「地域での人間関係が良い」(22.5%)、「犯罪が少ない」(21.4%)の順となっています。

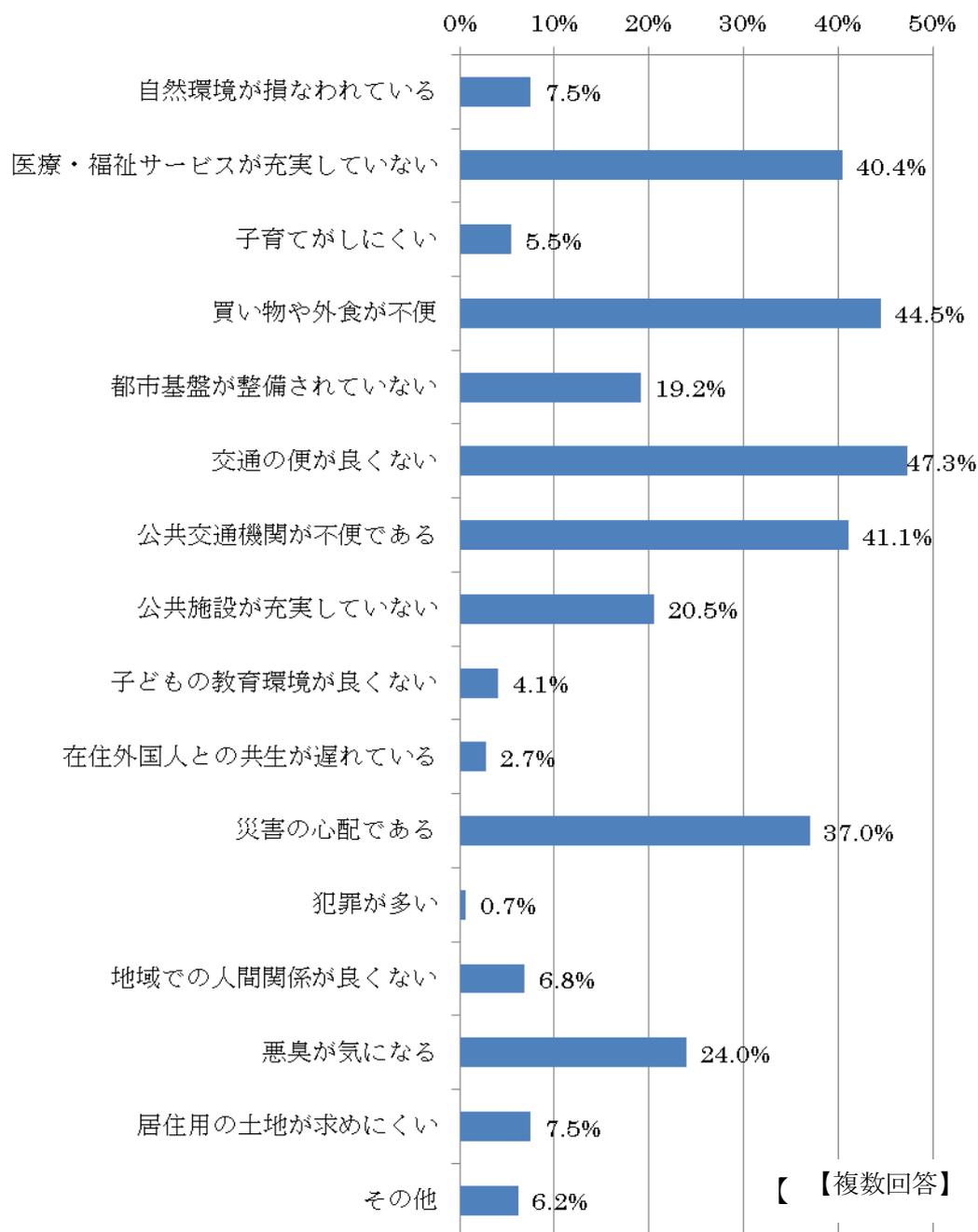


設問1-2 住みにくい理由は何ですか。（〇は3つまで）

※設問1で「住みにくい」、「あまり住みやすくない」と回答いただいた方にお尋ねしました。

◆ 住みにくい理由は、「交通の便が良くない」が47.3%

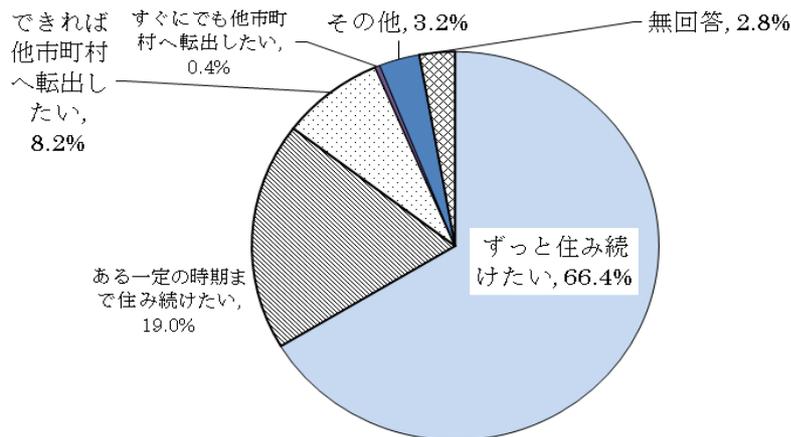
住みにくい理由は、「交通の便が良くない」（47.3%）が最も多く、次いで、「買い物や外食が不便」（44.5%）となっています。



設問2 これからも湖西市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

◆「ずっと住み続けたい」、「ある一定の時期まで住み続けたい」と答えた人は、
合わせて 85.4%

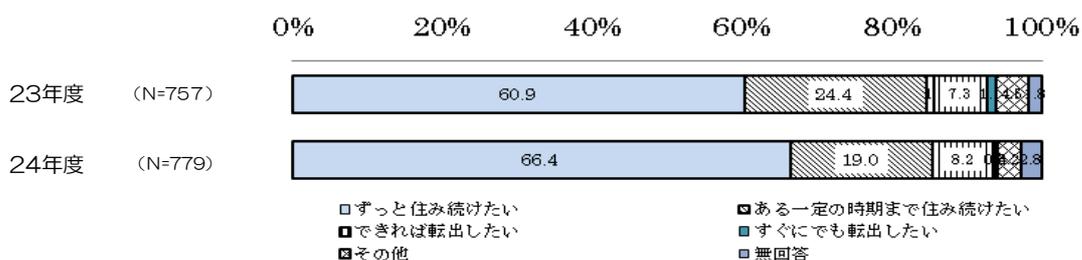
全体でみると「ずっと住み続けたい」(66.4%)、「ある一定の時期まで住み続けたい」(19.0%)、合わせて85.4%がこれからも『住み続けたい』と回答しています。

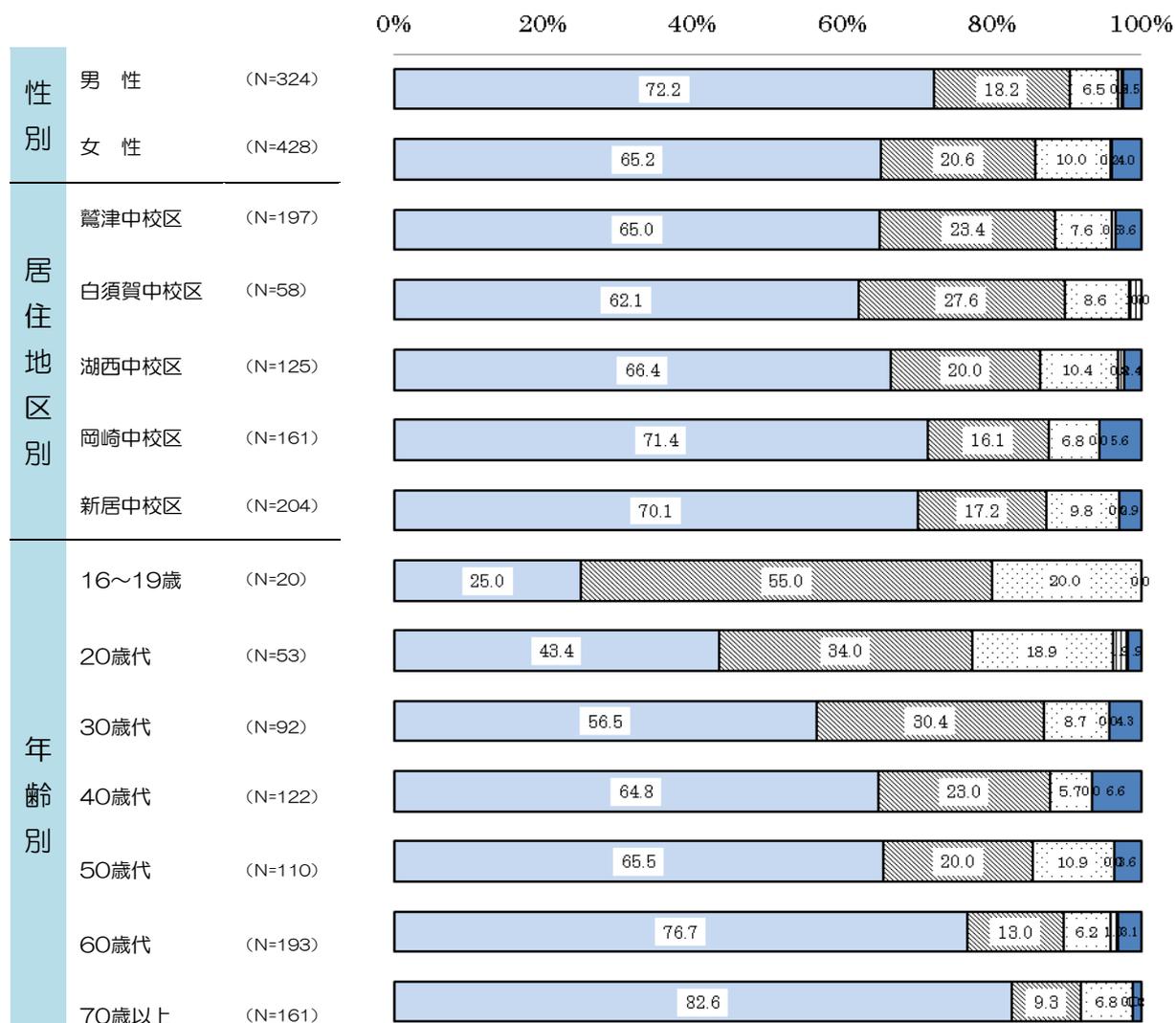


ずっと住み続けたい	517人	66.4%
ある一定の時期まで住み続けたい	148人	19.0%
できれば他市町村へ転出したい	64人	8.2%
すぐにでも他市町村へ転出したい	3人	0.4%
その他	25人	3.2%
無回答	22人	2.8%

◆時系列比較

「時系列」でみると、「ずっと住み続けたい」は、23年度調査(60.9%)から24年度調査(66.4%)では5.5ポイント高くなりました。





※無回答の値は表記なし

- ずっと住みたい
- ある一定の時期まで住みたい
- できれば他市町村へ転出したい
- すぐにでも他市町村へ転出したい
- その他

◆性別

「性別」でみると、『住みたい』（「ずっと住みたい」と「ある一定の時期まで住みたい」の合計）の割合は、女性の方がやや低くなっています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると『住みたい』の割合は、大きな差はありませんが、「ずっと住みたい」の割合では白須賀中学校地区でやや低くなっています。

◆年齢別

「年齢別」でみると、年齢が高くなるほど「ずっと住みたい」との回答が多くなっています。特に、70歳以上では「ずっと住みたい」の割合が最も高くなっています。

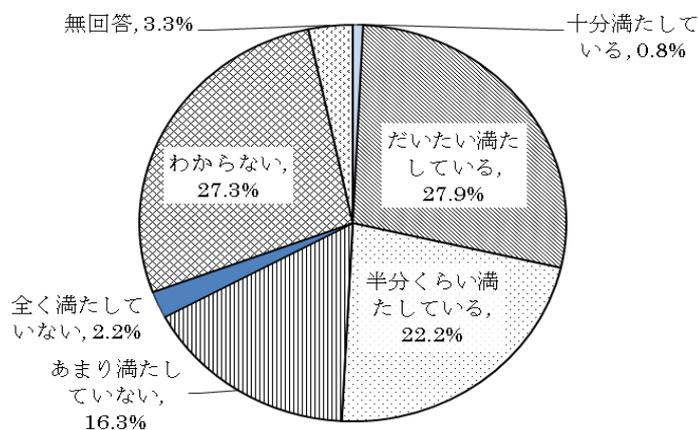
4 市政について

設問3 あなたは現在の市政が、市民の要望をどれくらい満たしていると思いますか。(〇は1つ)

◆「十分満たしている」「だいたい満たしている」と答えた人は、合わせて28.7%

全体で見ると「十分満たしている」(0.8%)、「だいたい満たしている」(27.9%)、合わせて28.7%が、市民の要望を『満たしている』と回答しています。

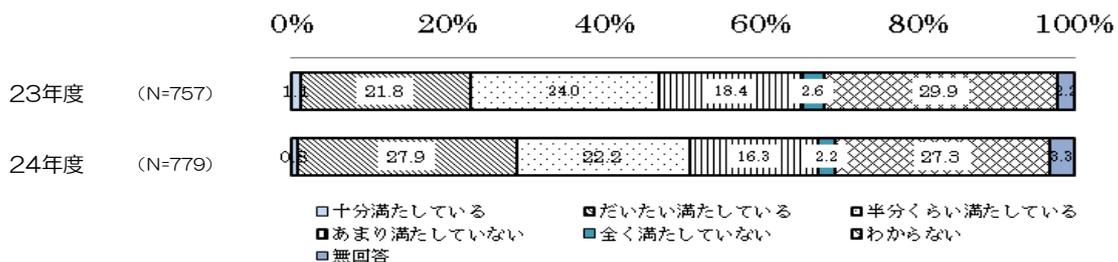
一方、「あまり満たしていない」(16.3%)、「全く満たしていない」(2.2%)、合わせて18.5%が、市民の要望を『満たしていない』と回答しています。

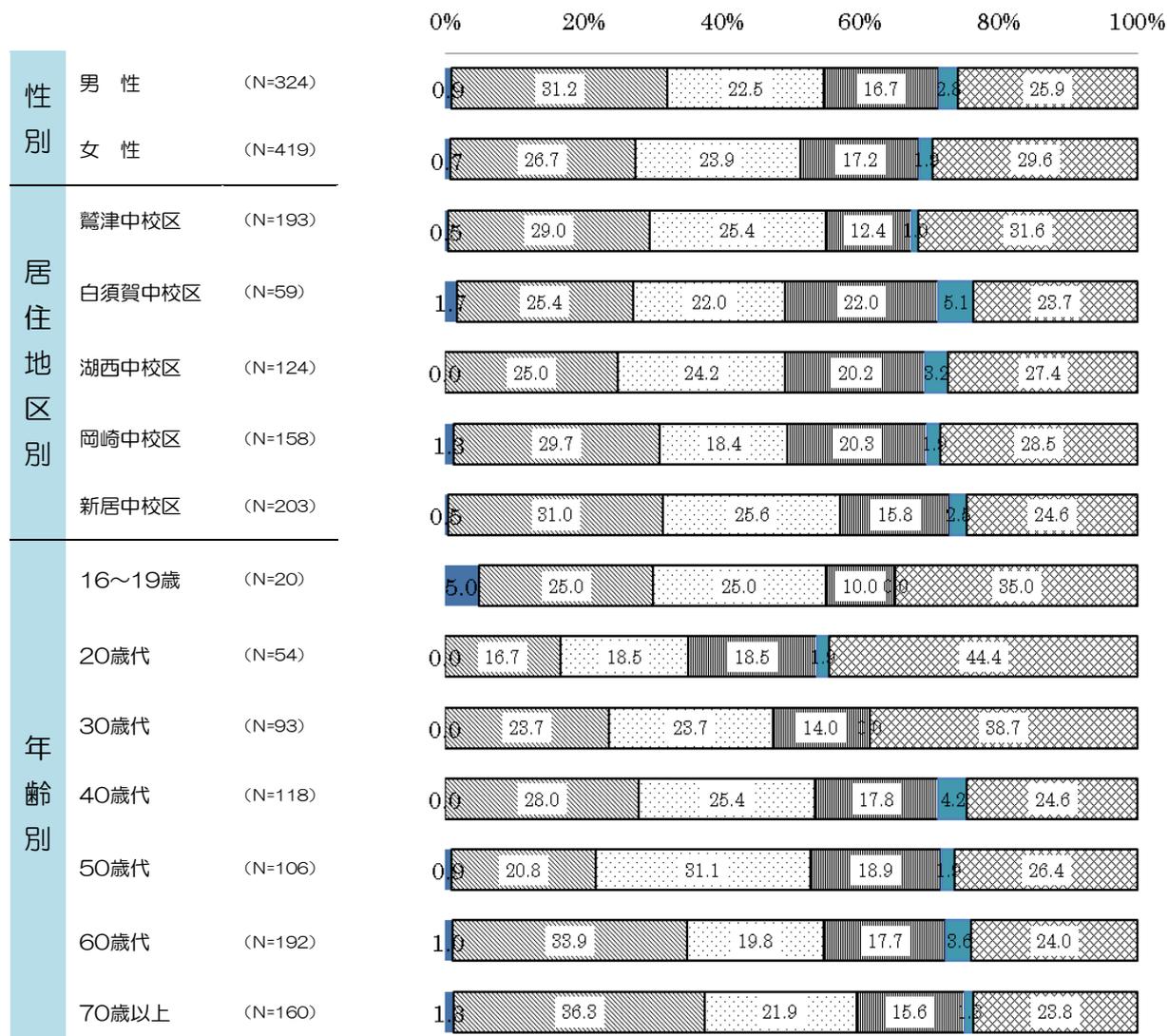


十分満たしている	6人	0.8%
だいたい満たしている	217人	27.9%
半分くらい満たしている	173人	22.2%
あまり満たしていない	127人	16.3%
全く満たしていない	17人	2.2%
わからない	213人	27.3%
無回答	26人	3.3%

◆時系列比較

「時系列」で見ると、「十分満たしている」、「だいたい満たしている」を合わせた割合は、23年度調査(22.9%)から24年度調査(28.7%)で5.8ポイント高くなりました。





※無回答の値は表記なし

- 十分満たしている
- だいたい満たしている
- 半分くらい満たしている
- あまり満たしていない
- 全く満たしていない
- わからない

◆性別

「性別」で見ると、市民の要望を『満たしている』（「十分満たしている」と「だいたい満たしている」の合計）の割合は、男性が32.1%と女性の27.4%より高くなっています。

◆居住地区別

「居住地区別」で見ると、市民の要望を『満たしている』の割合は、湖西中学校区、白須賀中学校区で低く3割を満たしていません。

◆年齢別

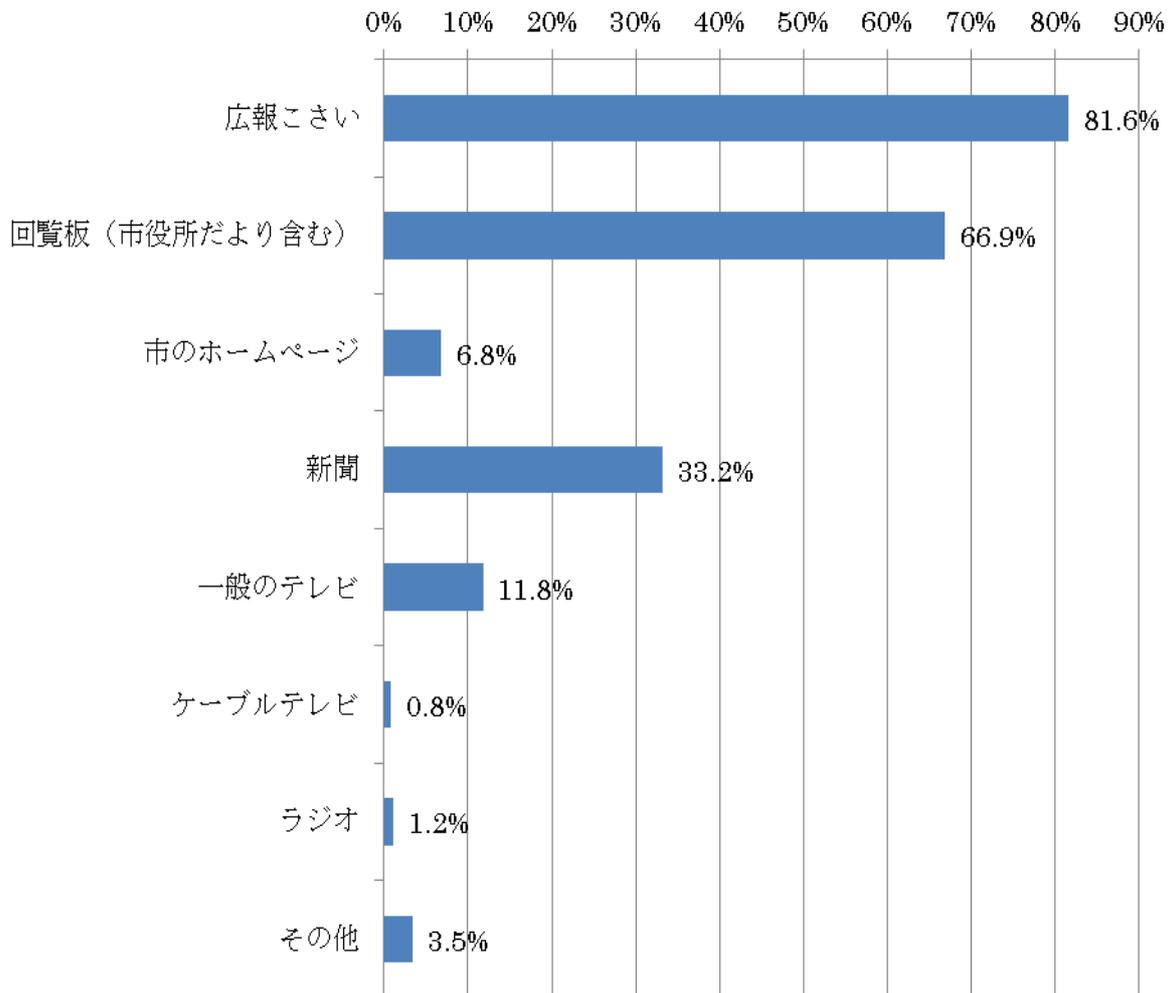
「年齢別」で見ると、市民の要望を『満たしている』の割合は、20歳代、50歳代で低くなっています。

設問4 あなたは市政情報を主に何から取得していますか。(〇はいくつでも)

◆「広報こさい」から情報を取得しているが8割

市政の情報の取得方法は、「広報こさい」(81.6%)で最も高く、次いで「回覧板(市民だより含む)」(66.9%)「新聞」(33.2%)の順となっています。

一方、「市のホームページ」は6.8%となっています。



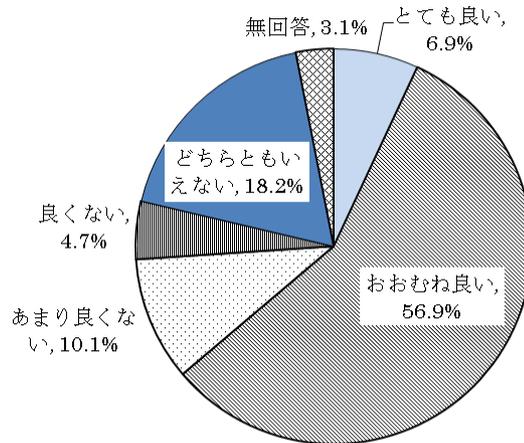
【複数回答】

設問5 あなたは市の職員の接客態度や、仕事に対する姿勢をどのように評価しますか。(〇は1つ)

◆ 「とても良い」「おおむね良い」と答えた人は、合わせて 63.8% ***

全体で見ると「とても良い」(6.9%)、「おおむね良い」(56.9%)合わせて63.8%が、市の職員の接客態度や仕事に対する姿勢が『良い』と回答しています。

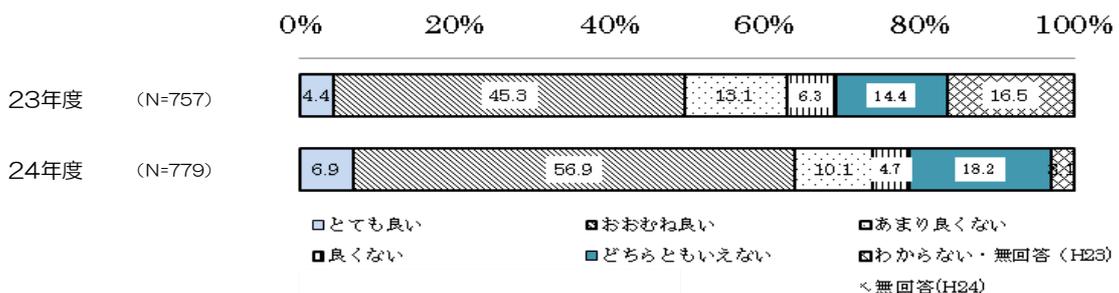
一方、「あまり良くない」(10.1%)、「良くない」(4.7%)合わせて14.8%が『良くない』と回答しています。

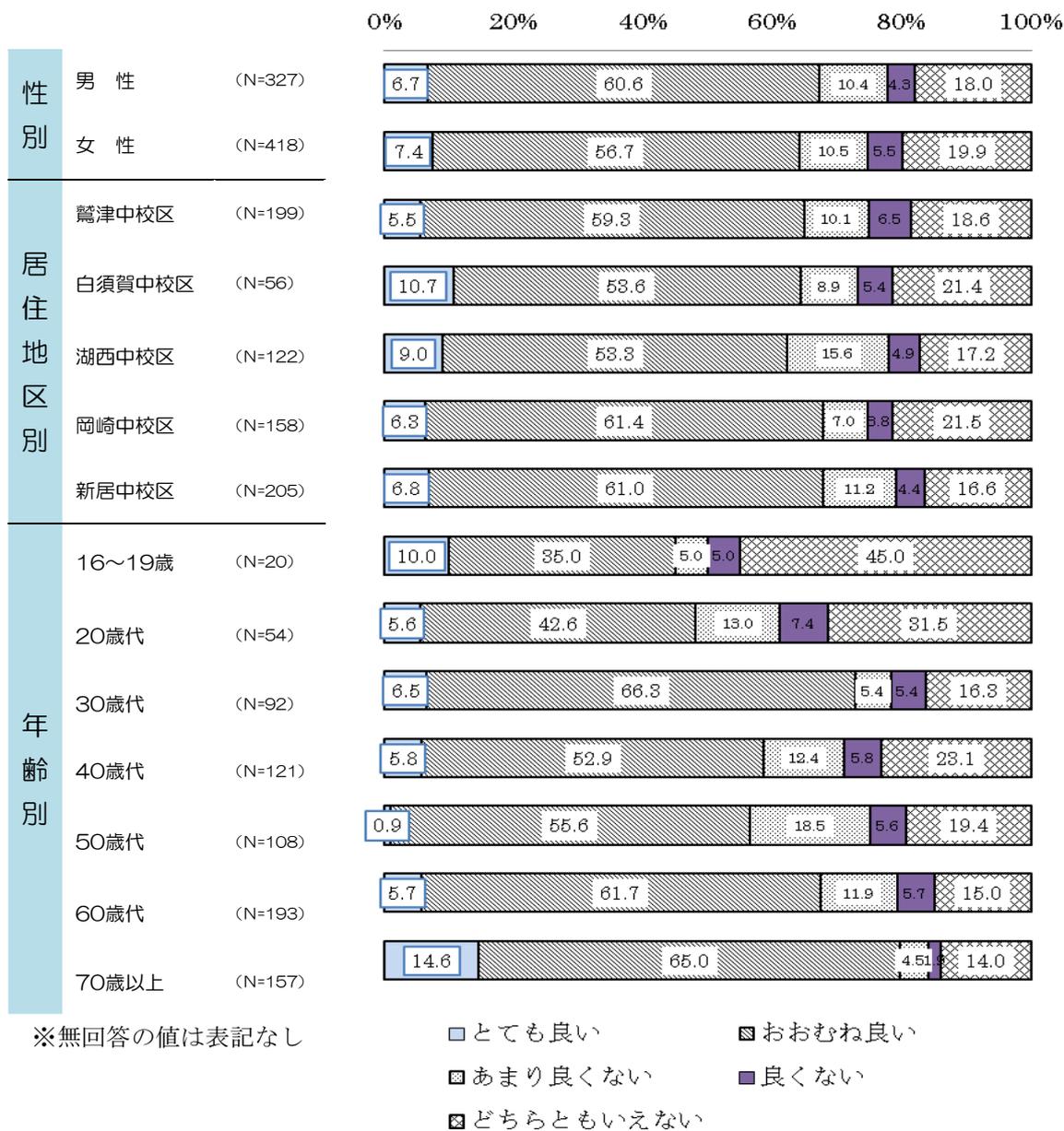


とても良い	54人	6.9%
おおむね良い	443人	56.9%
あまり良くない	79人	10.1%
良くない	37人	4.7%
どちらともいえない	142人	18.2%
無回答	24人	3.1%

◆時系列比較

「時系列」で見ると、「とても良い」、「おおむね良い」を合わせた割合は、23年度調査(49.7%)から24年度調査(63.8%)では14.1ポイント高くなりました。





◆性別

「性別」でみると、『良い』（「とても良い」と「おおむね良い」の合計）の割合は、男性が67.3%と女性の64.1%より高くなっています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、岡崎中学校区、新居中学校区で『良い』と感じている割合が高くなっています。

◆年齢別

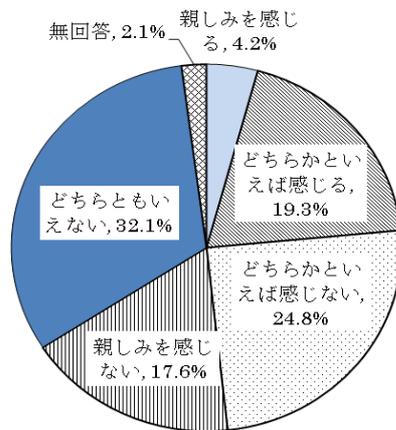
「年齢別」でみると、「とても良い」と感じている割合は、特に50歳代で0.9%と低くなっています。一方で70歳以上では、14.6%と高くなっています。

設問6 あなたは地域で暮らす外国人にどの程度親しみを感じますか。
(○は1つ)

◆「親しみを感じる」「どちらかといえば感じる」と答えた人は、合わせて 23.5%

全体でみると「親しみを感じる」(4.2%)、「どちらかといえば感じる」(19.3%)、合わせて23.5%が、地域で暮らす外国人に親しみを感じていると回答しています。

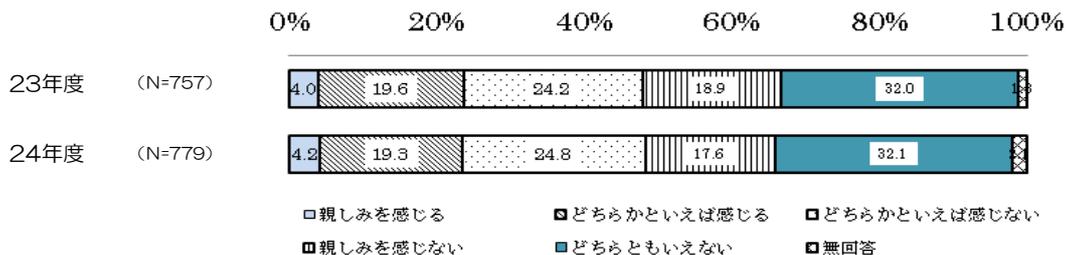
一方、「どちらかといえば感じない」(24.8%)、「親しみを感じない」(17.6%)合わせて42.4%が、親しみを感じていないと回答しています。

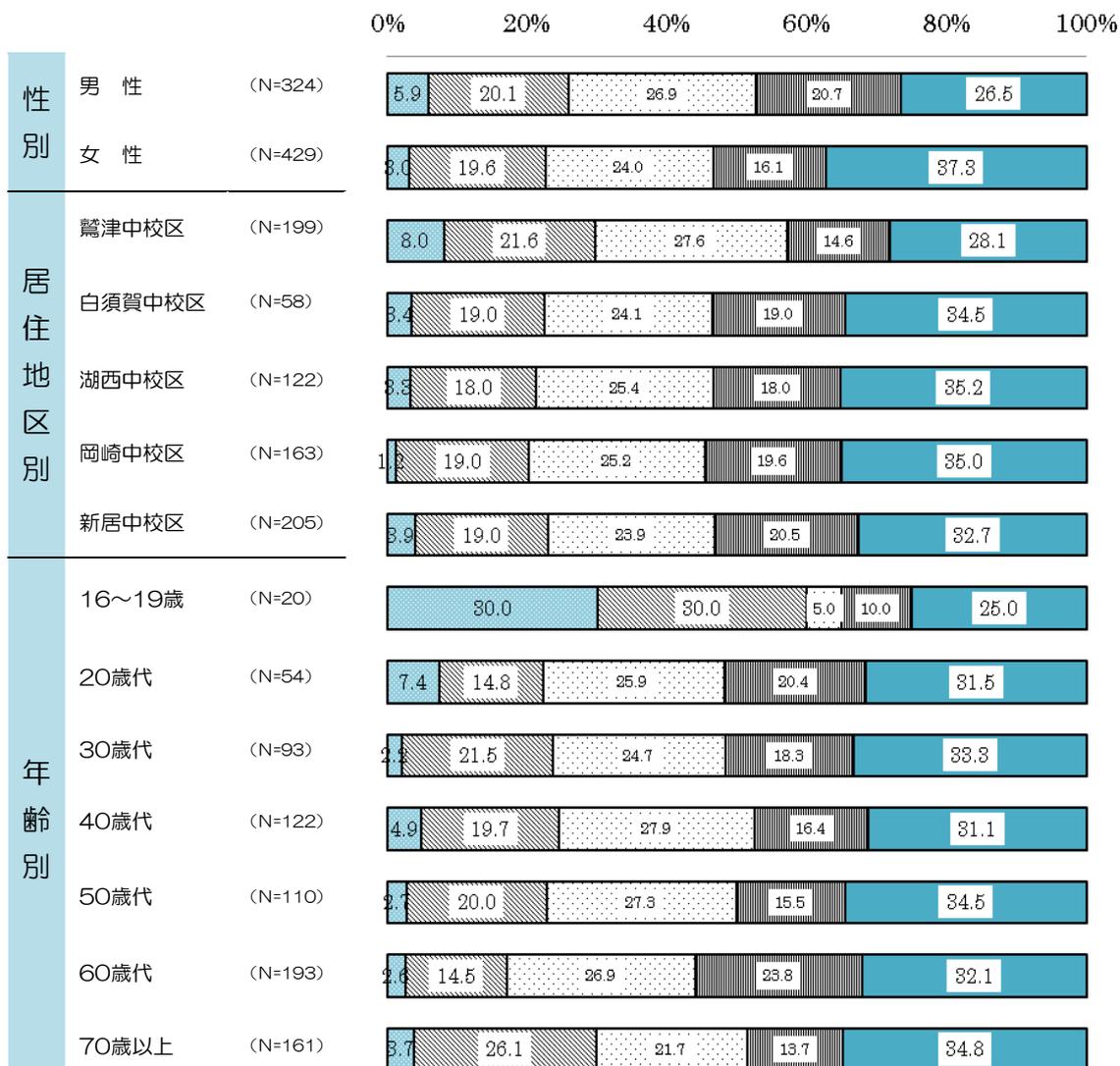


親しみを感じる	33人	4.2%
どちらかといえば感じる	150人	19.3%
どちらかといえば感じない	193人	24.8%
親しみを感じない	137人	17.6%
どちらともいえない	250人	32.1%
無回答	16人	2.1%

◆時系列比較

「時系列」でみると、23年度調査と24年度調査とも同様な傾向となりました。





※無回答の値は表記なし

- 親しみを感じる
- ▨ どちらかといえば感じる
- どちらかといえば感じない
- ▨ 親しみを感じない
- どちらともいえない

◆性別

「性別」でみると、男女による大きな差はみられず、男性・女性とも約2割強の市民が『親しみを感じている』（「親しみを感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）と回答しています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、鷺津中学校区で『親しみを感じている』と感じている割合が高くなっています。

◆年齢別

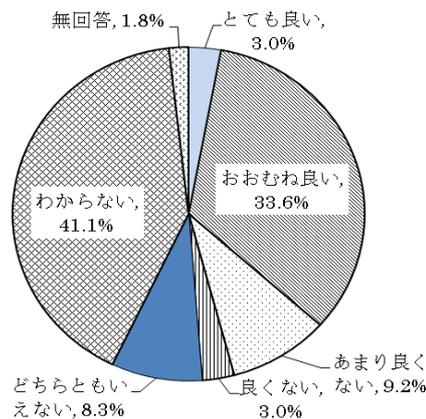
「年齢別」でみると、特に16~19歳で親しみを感じる割合が高くなっています。

設問7 あなたは湖西市の子育て支援策についてどう思いますか。
(〇は1つ)

◆「とても良い」「おおむね良い」と答えた人は、合わせて36.6%

全体で見ると「とても良い」(3.0%)、「おおむね良い」(33.6%)合わせて36.6%が、湖西市の子育て支援策が『良い』と回答しています。

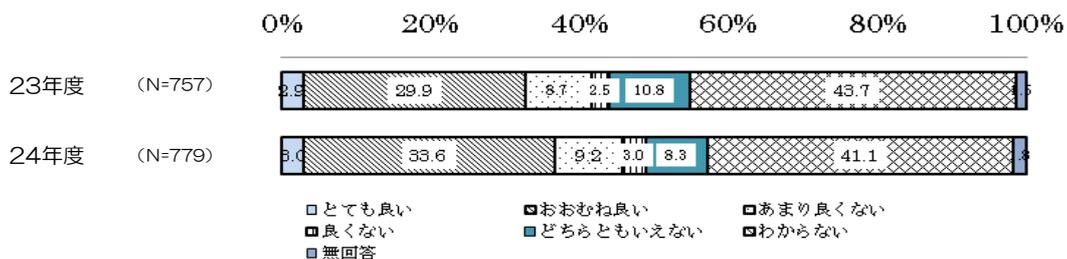
一方、「あまり良くない」(9.2%)、「良くない」(3.0%)合わせて12.2%が、『良くない』と回答しています。また、「わからない」が41.1%と最も多くなっています。

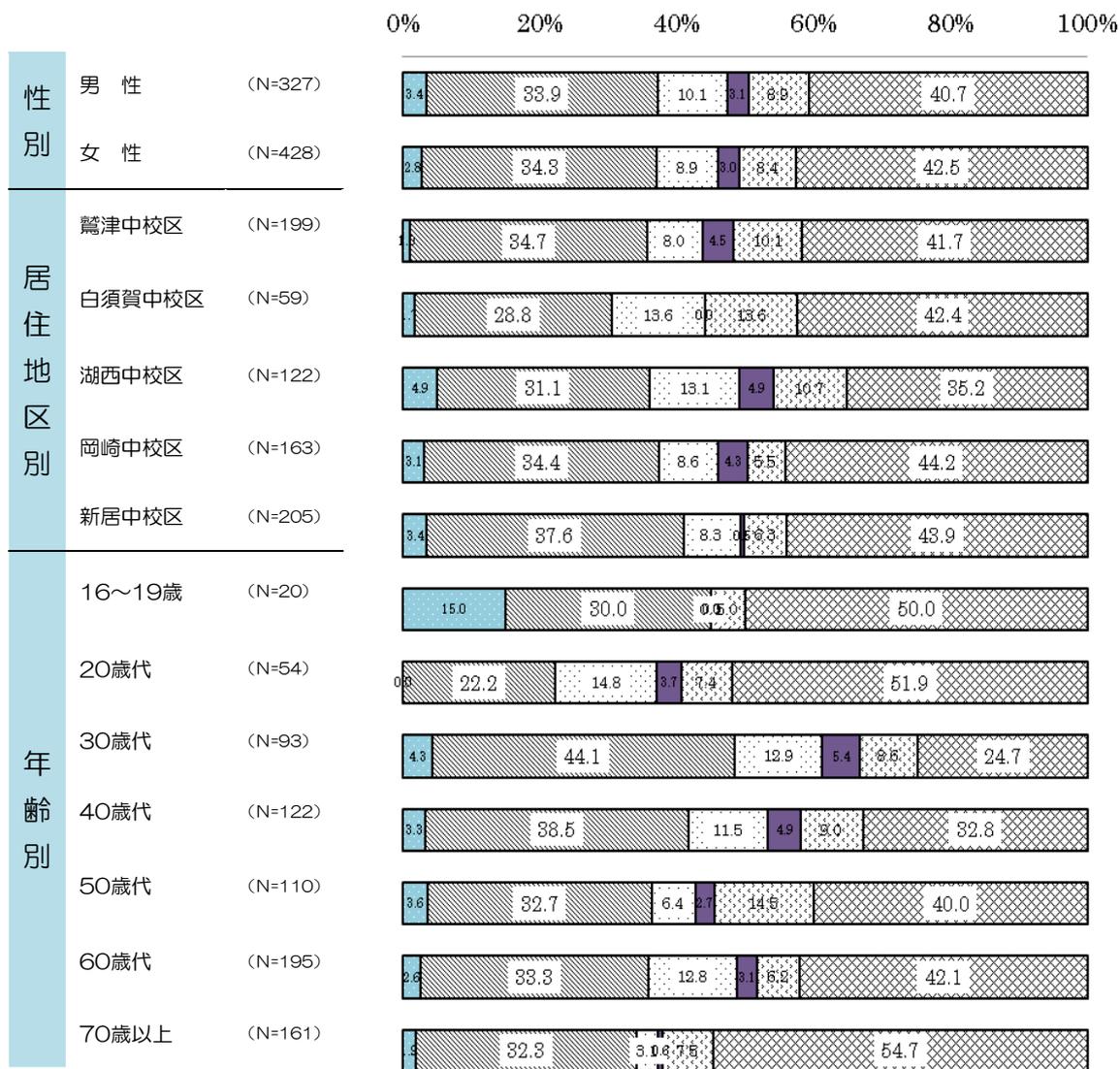


とても良い	23	3.0%
おおむね良い	262	33.6%
あまり良くない	72	9.2%
良くない	23	3.0%
どちらともいえない	65	8.3%
わからない	320	41.1%
無回答	14	1.8%

◆時系列比較

「時系列」で見ると、「とても良い」、「おおむね良い」を合わせた割合は、23年度調査(32.8%)から24年度調査(36.6%)で3.8ポイント高くなりました。





※無回答の値は表記なし

とても良い
 まあ良い
 あまり良くない
 良くない
 どちらともいえない
 おおむね良い
 良くない
 わからない

◆性別

「性別」でみると、男女による大きな差はみられず、男性・女性とも約3割強の市民が『良い』と感じる（「とても良い」と「おおむね良い」の合計）と回答しています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、『良い』と感じている割合は新居中学校区で約4割と高くなっています。

◆年齢別

「年齢別」でみると、16~19歳で「とても良い」と感じる割合が最も高くなっています。また、『良い』と感じる割合は、30歳代が最も高くなっています。

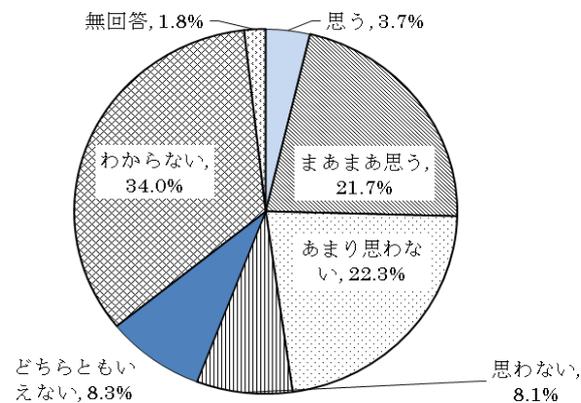
設問8 湖西市は障害のある人にとって住みやすい町だと思いますか。
(○は1つ)

◆「思う」「まあまあ思う」と答えた人は、合わせて 25.4%

全体で見ると「思う」(3.7%)、「まあまあ思う」(21.7%)合わせて25.4%が、湖西市は障害のある人にとって『住みやすい』と回答しています。

一方、「あまり思わない」(22.3%)、「思わない」(8.1%)合わせて30.4%が、『住みやすくない』と回答しており、『住みやすい』を上回っています。

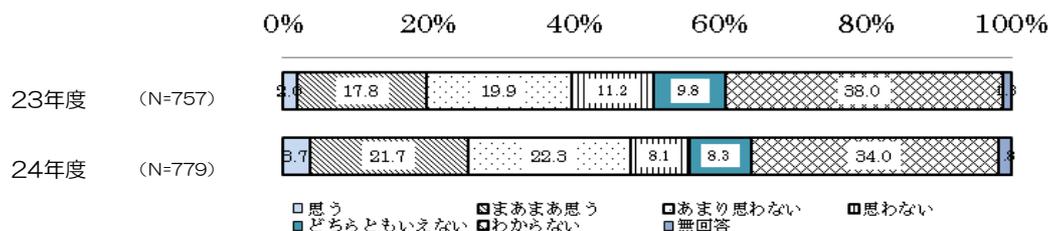
また、「わからない」が34.0%と最も多くなっています。

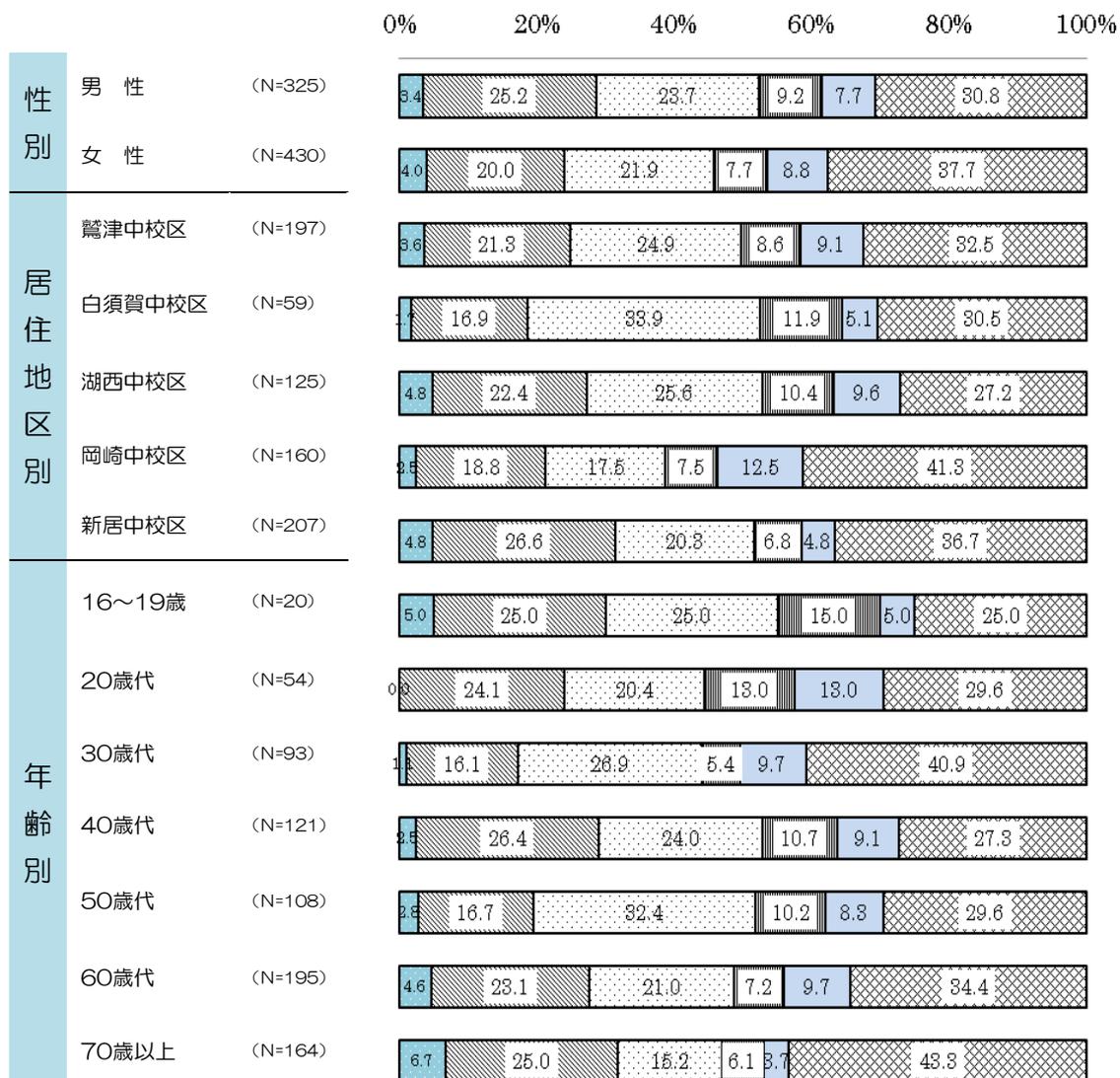


思う	29	3.7%
まあまあ思う	169	21.7%
あまり思わない	174	22.3%
思わない	63	8.1%
どちらともいえない	65	8.3%
わからない	265	34.0%
無回答	14	1.8%

◆時系列比較

「時系列」で見ると、「思う」、「まあまあ思う」を合わせた割合は、23年度調査(19.8%)から24年度調査(25.4%)で5.6ポイント高くなりました。





※無回答の値は表記なし

- 思う
- まあまあ思う
- あまり思わない
- 思わない
- どちらともいえない
- わからない

◆性別

「性別」でみると、障害のある人が『住みやすい』（「思う」と「まあまあ思う」の合計）の割合は、男性が28.6%と女性の24.0%より高くなっています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、新居中学校区で『住みやすい』と感じている割合は約3割と高くなっています。白須賀中学校区では2割を下回っています。

◆年齢別

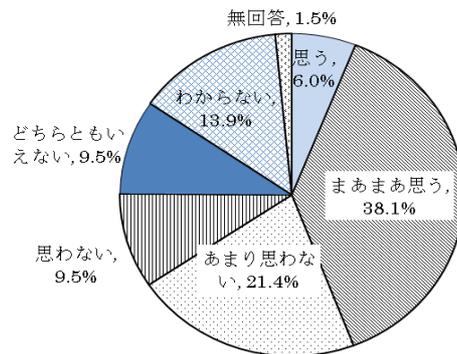
「年齢別」でみると、『住みやすい』と感じている割合は、30歳代、50歳代で低くなっています。

設問9 湖西市は高齢者にとって住みやすい町だと思いますか。
(〇は1つ)

◆ 「思う」「まあまあ思う」と答えた人は、合わせて 44.1%

全体で見ると「思う」(6.0%)、「まあまあ思う」(38.1%)合わせて44.1%が、湖西市は高齢者にとって『住みやすい』と回答しています。

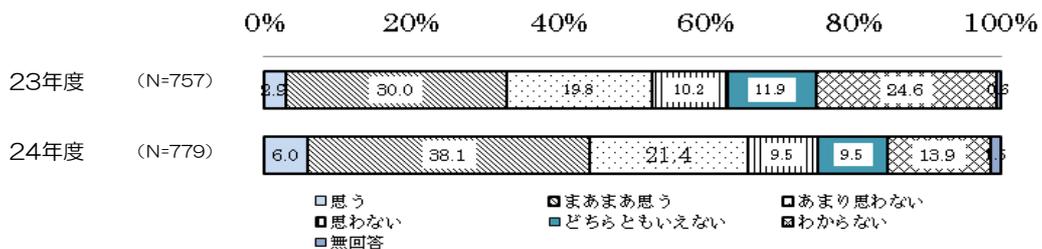
一方、「あまり思わない」(21.4%)、「思わない」(9.5%)合わせて30.9%が、『住みやすくない』と回答しています。

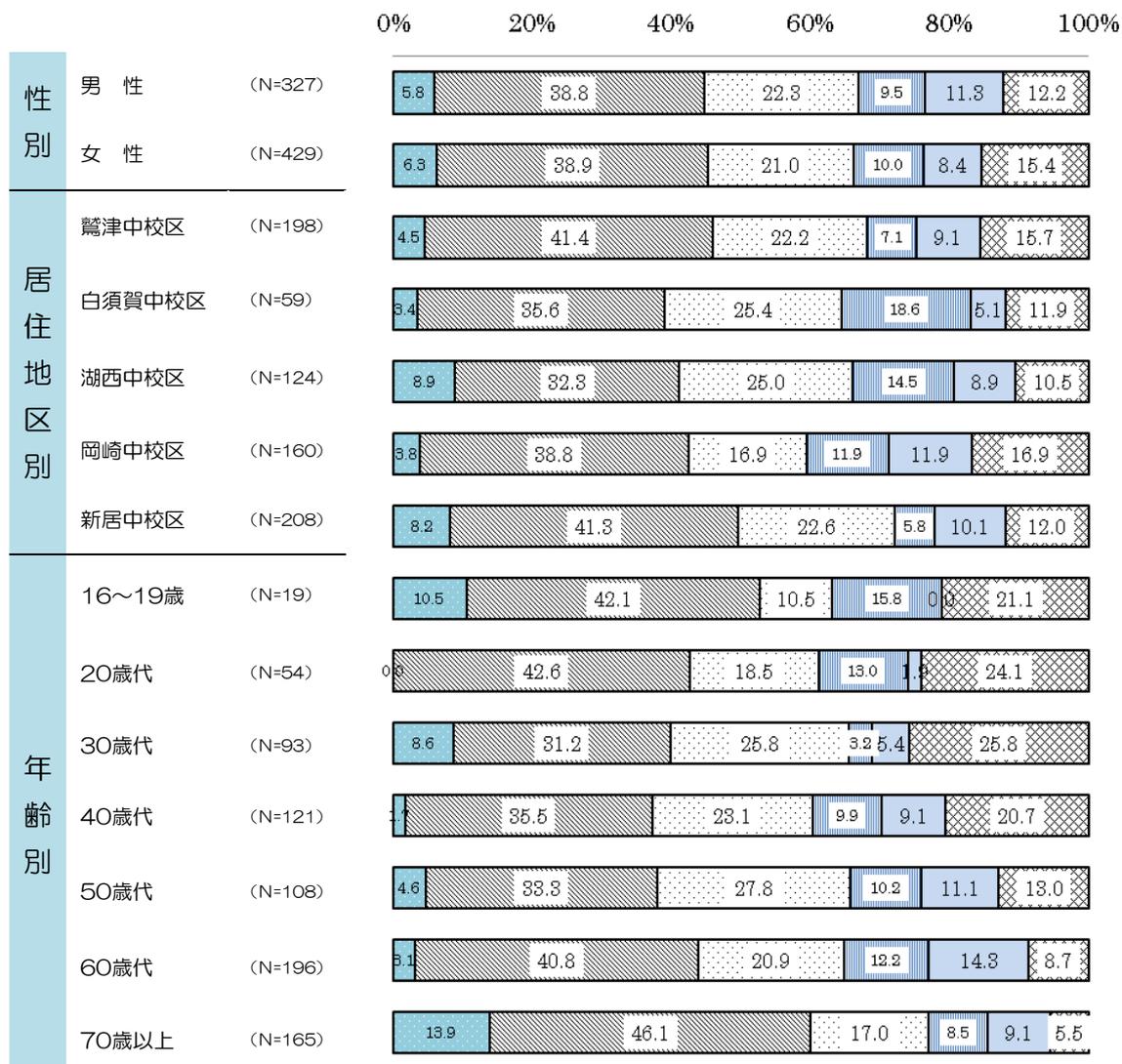


思う	47人	6.0%
まあまあ思う	297人	38.1%
あまり思わない	167人	21.4%
思わない	74人	9.5%
どちらともいえない	74人	9.5%
わからない	108人	13.9%
無回答	12人	1.5%

◆ 時系列比較

「時系列」で見ると、「思う」、「まあまあ思う」を合わせた割合は、23年度調査(32.9%)から24年度調査(44.1%)では11.2ポイント高くなりました。





※無回答の値は表記なし

- 思う
- あまり思わない
- どちらともいえない
- まあまあ思う
- 思わない
- わからない

◆性別

「性別」でみると、男女による大きな差はみられず、男性・女性とも約45%の市民が『住みやすい』（「思う」と「まあまあ思う」の合計）と回答しています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、『住みやすい』と感じている割合は新居中学校区で約50%と高くなっています。

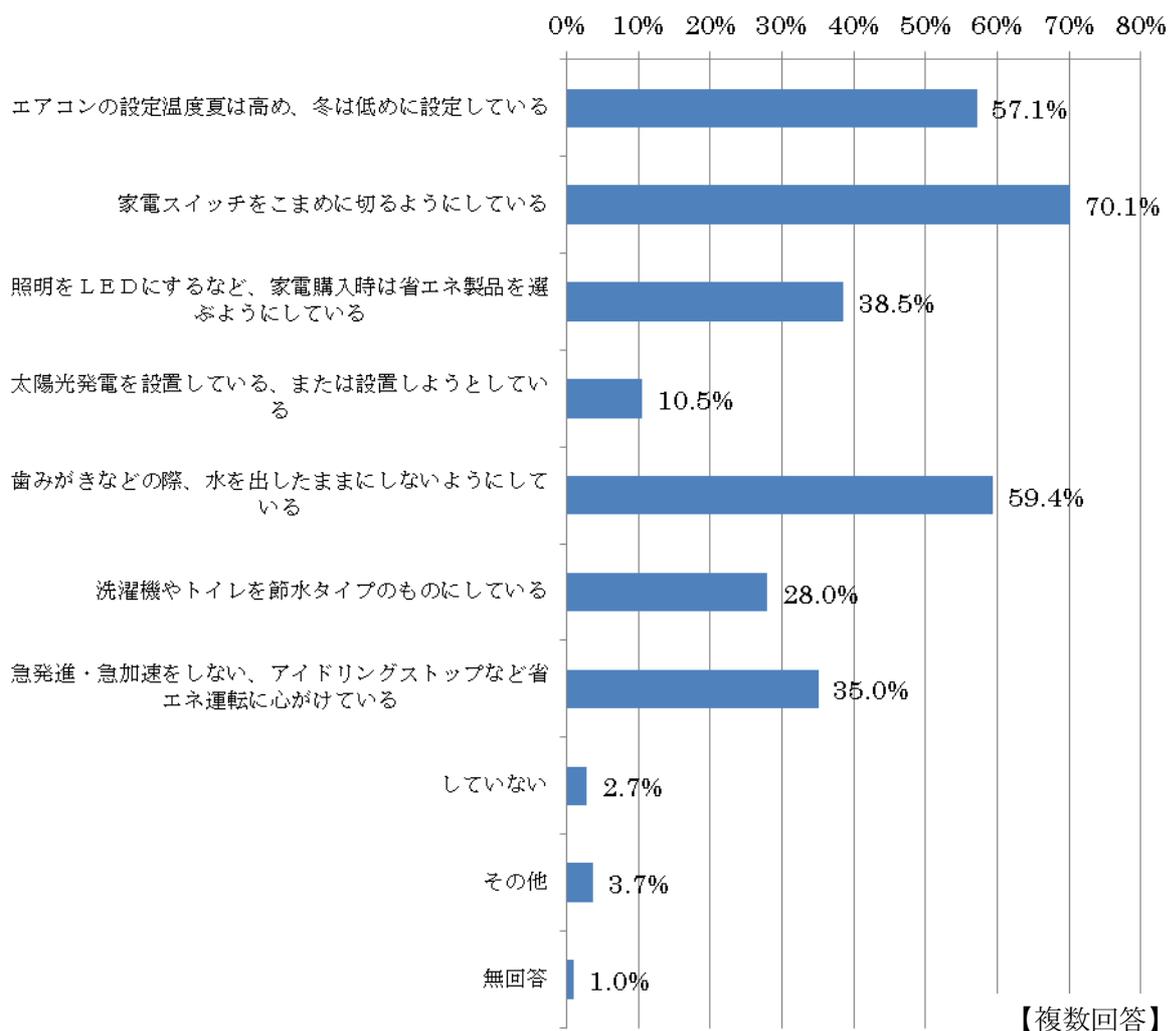
◆年齢別

「年齢別」でみると、70歳代で『住みやすい』と感じている割合が、最も高くなっています。

設問10 「省エネ」に関してどのようなことを実施していますか。
(〇はいくつでも)

◆「家電スイッチを切る」が7割

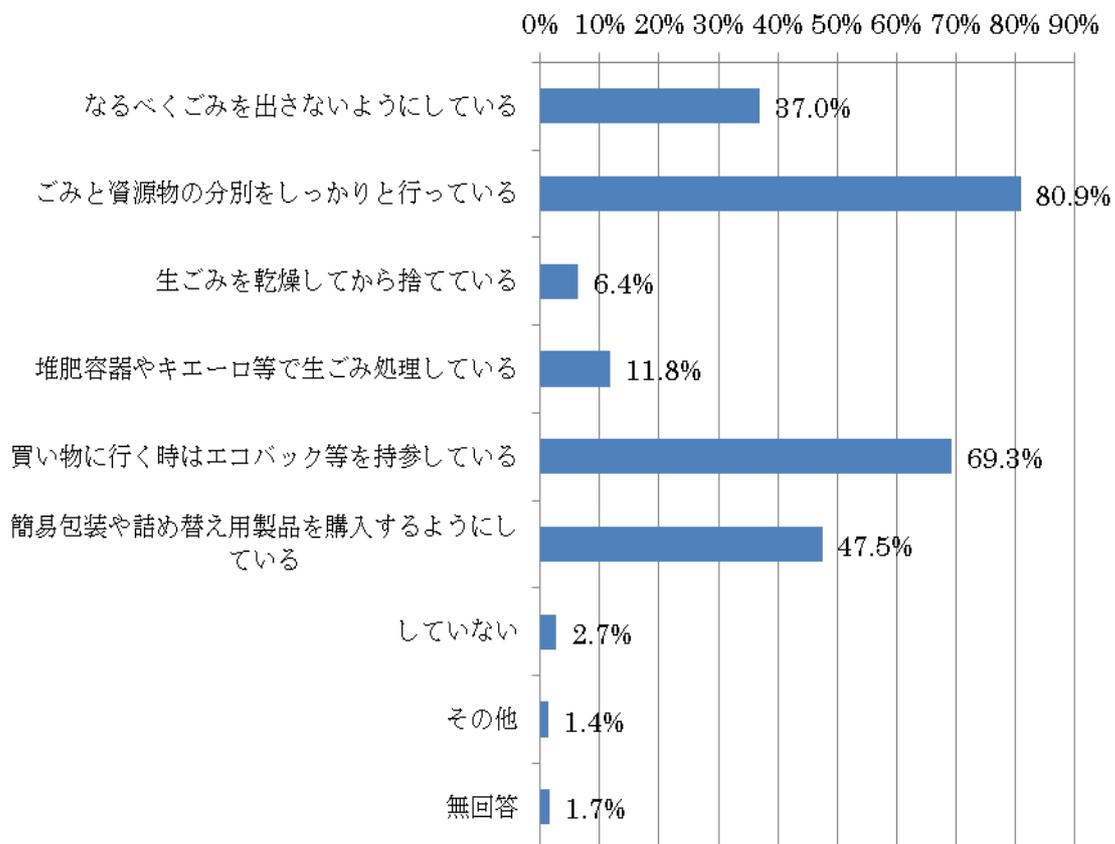
省エネの取り組みについては、「電源スイッチをこまめに切るようにしている」(70.1%)で最も高く、次いで「歯みがきなどの際、水を出したままにしないようにしている」(59.4%)「エアコンの設定温度夏は高め、冬は低めに設定している」(57.1%)の順となっています。



設問11 「ごみ減量」に関してどのようなことを実施していますか。
(〇はいくつでも)

◆「ごみの分別」が8割。エコバック等の持参も7割

ごみの減量の取り組みについては、「ごみと資源物の分別」(80.9%)で最も高く、次いで「エコバック等の持参」(69.3%)「簡易包装や詰め替え用品を購入」(47.5%)の順となっています。



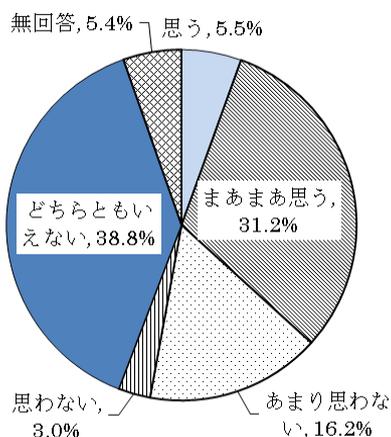
【複数回答】

設問12 湖西市は消費者がトラブルに巻き込まれないための支援体制が充実していると思いますか。（〇は1つ）

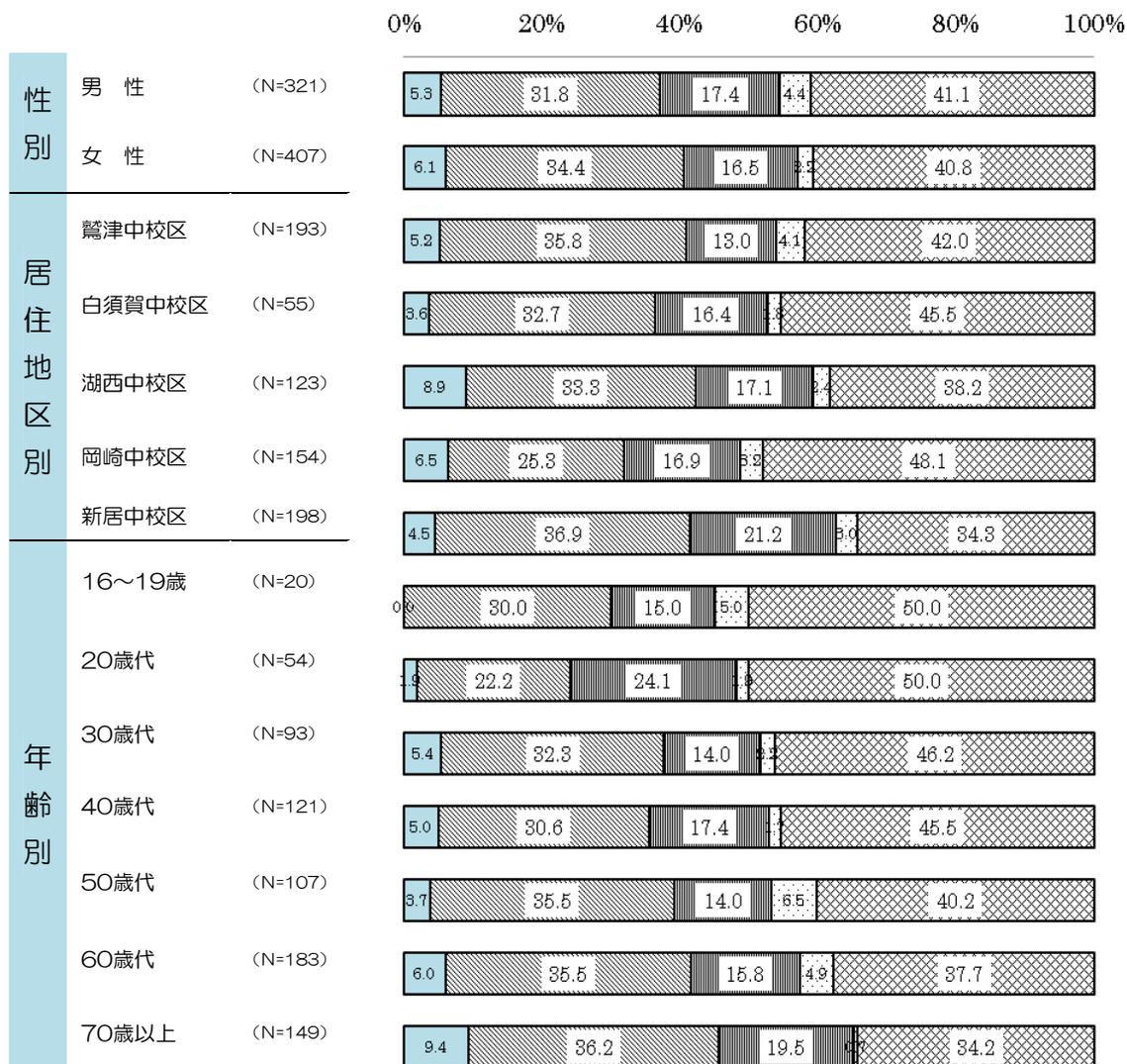
◆「思う」「まあまあ思う」と答えた人は、合わせて 36.7%

全体で見ると「思う」（5.5%）、「まあまあ思う」（31.2%）合わせて36.7%が、消費者がトラブルに巻き込まれないための支援体制が『充実している』と回答しています。

一方、「あまり思わない」（16.2%）、「思わない」（3.0%）合わせて19.2%が、『充実していない』と回答しています。



思う	43人	5.5%
まあまあ思う	243人	31.2%
あまり思わない	126人	16.2%
思わない	23人	3.0%
どちらともいえない	302人	38.8%
無回答	42人	5.4%



※無回答の値は表記なし

思う
 まあまあ思う
 あまり思わない
 思わない
 どちらともいえない

◆性別

「性別」でみると、『充実している』（「思う」と「まあまあ思う」の合計）の割合は、女性が40.5%と男性37.1%より高くなっています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、『充実している』の割合は湖西中学校区で42.2%と高くなっています。岡崎中学校区は31.8%と低くなっています。

◆年齢別

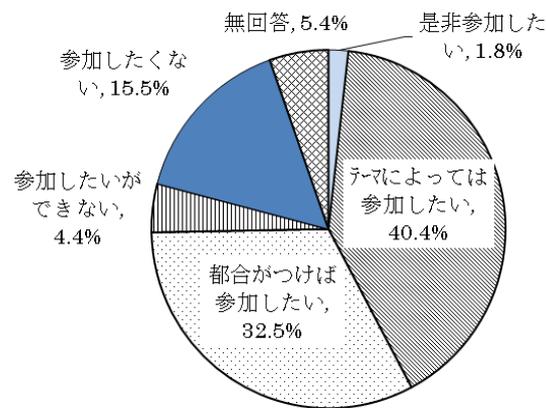
「年齢別」でみると、70歳代で『充実している』と感じている割合が高く、一方で20歳代では24.1%と低くなっています。

設問13 あなたは市と市民との懇談会などに参加したいと思いますか。
(○は1つ)

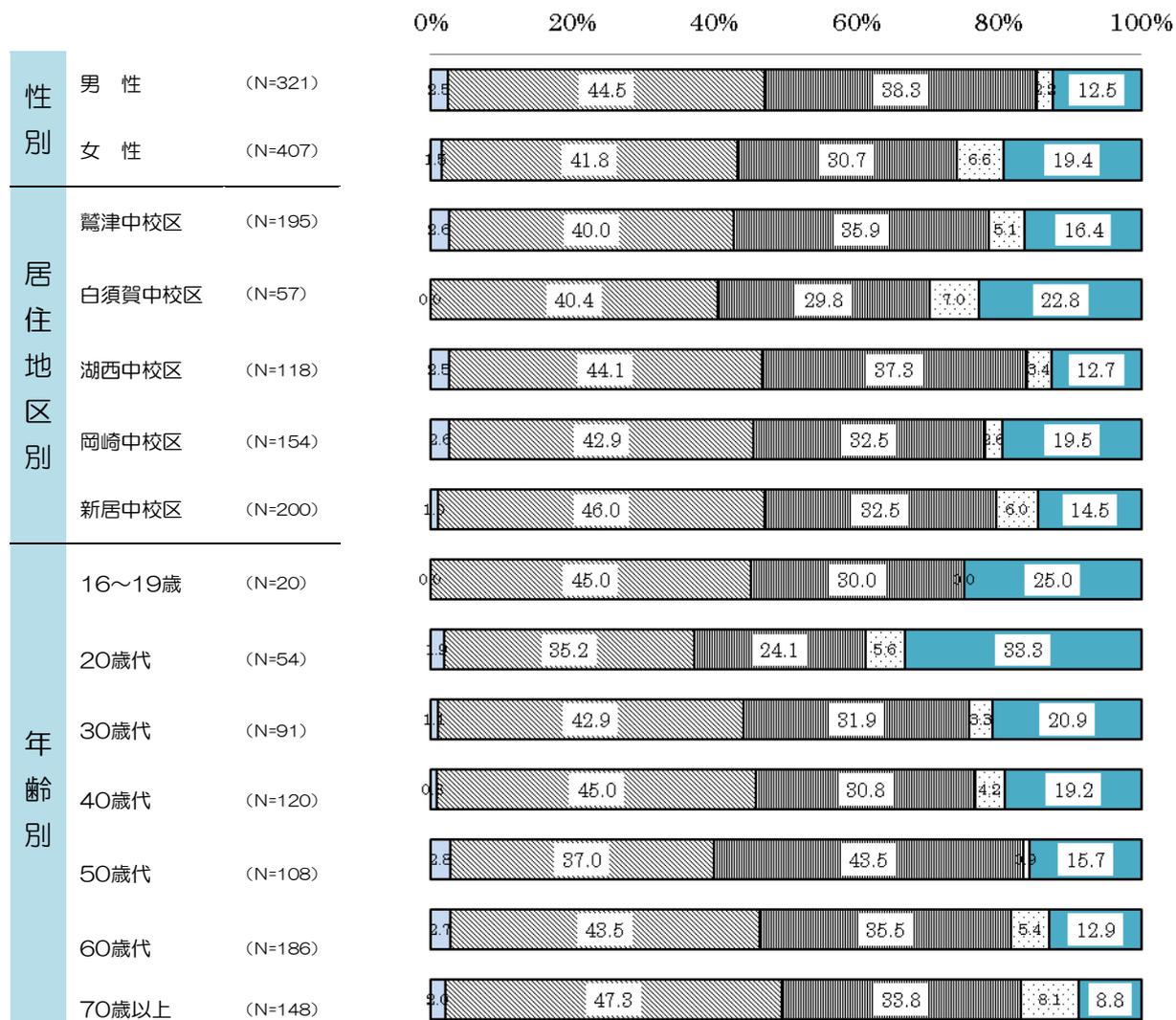
◆ 「テーマによっては参加したい」が4割

全体で見ると「是非参加したい」(1.8%)、「テーマによっては参加したい」(40.4%)「都合がつけば参加したい」(32.5%)合わせて74.7%が、市民懇談会に『参加したい』となっています。

一方、「参加したくない」(15.5%)が、回答しています。



是非参加したい	14人	1.8%
テーマによっては参加したい	315人	40.4%
都合がつけば参加したい	253人	32.5%
参加したいができない	34人	4.4%
参加したくない	121人	15.5%
無回答	42人	5.4%



※無回答の値は表記なし

- 是非参加したい
- テーマによっては参加したい
- 都合がつけば参加したい
- 参加したいができない
- 参加したくない

◆性別

「性別」で見ると、『参加したい』（「是非参加したい」「テーマによっては参加したい」「都合がつけば参加したい」の合計）の割合は、男性が85.3%と女性74.0%より高くなっています。

◆居住地区別

「居住地区別」で見ると、『参加したい』と感じている割合は湖西中学校区で83.9%と高くなっています。一方、白須賀中学校区は70.2%となっています。

◆年齢別

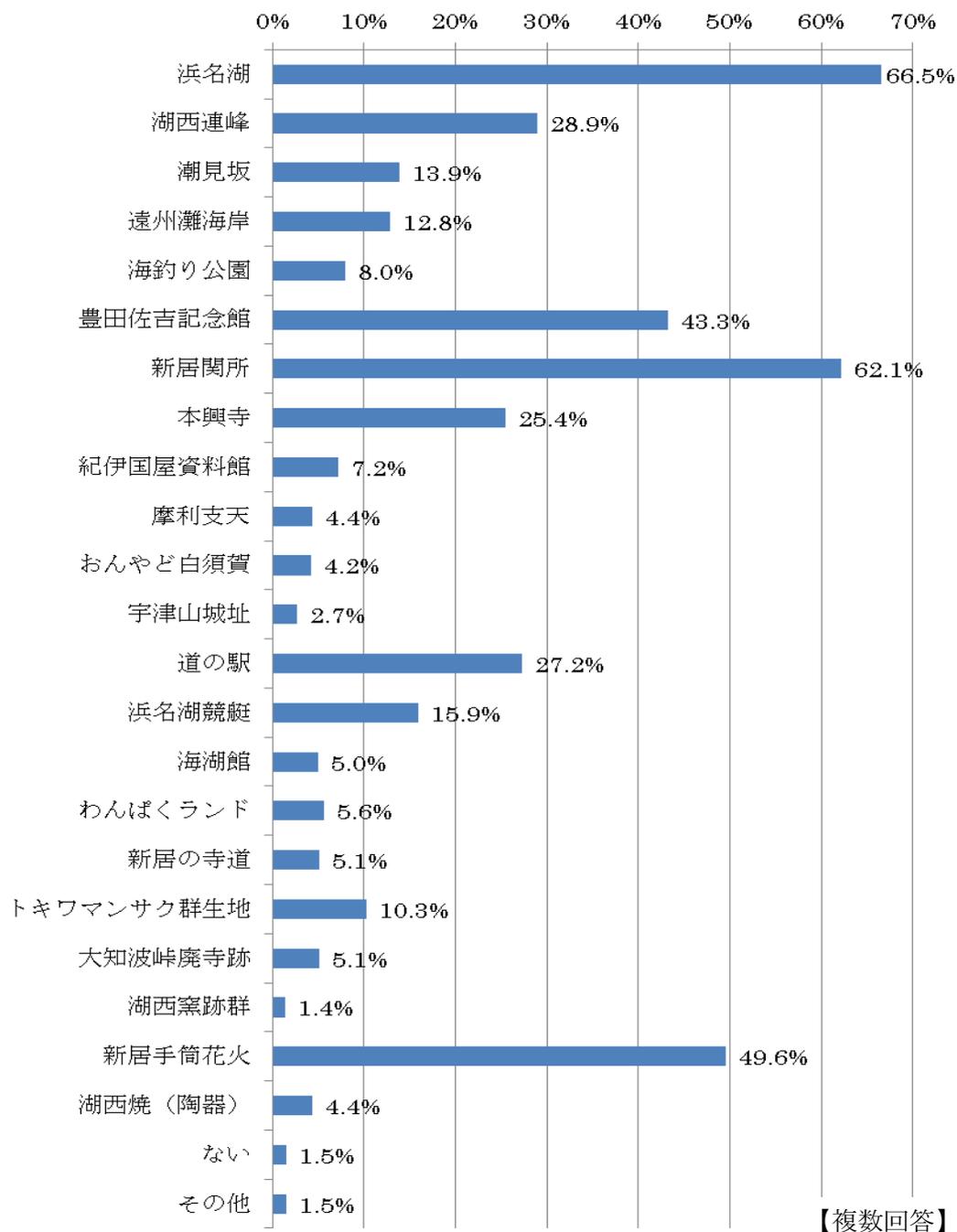
「年齢別」で見ると、16~19歳で『参加したい』と感じている割合が75.0%となっています。その他の年齢別では、年齢が高くなるほど『参加したい』との回答が多くなっており、70歳以上で83.1%と最も高くなっています。

設問14 あなたは市の観光資源として、積極的にPRしていくべきだと思うのはどれですか。（〇は5つまで）

◆ 積極的にPRしていくべきは「浜名湖」「新居関所」が6割を超える

「浜名湖」（66.5%）で最も高く、次いで「新居関所」（62.1%）

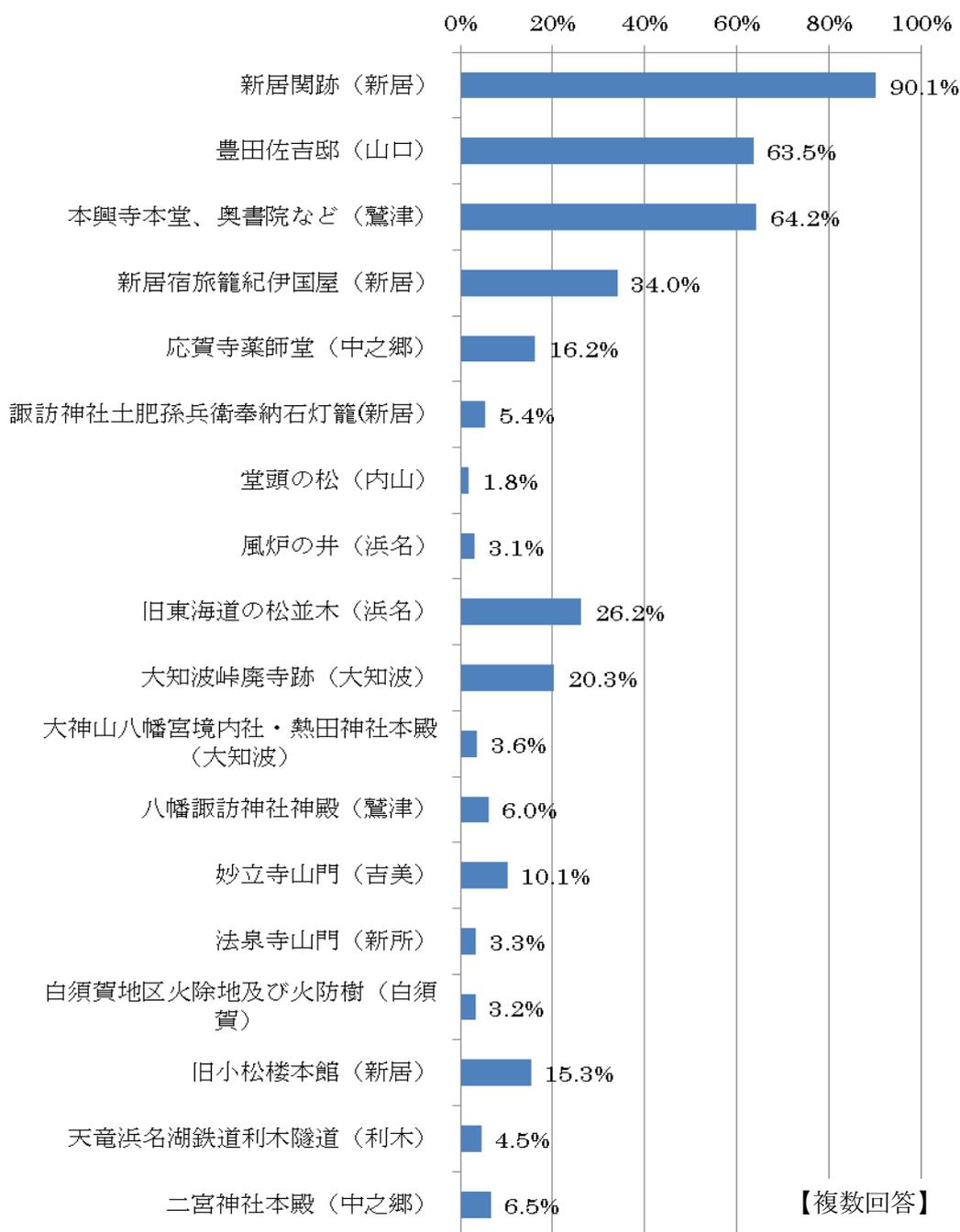
「新居手筒花火」（49.6%）「豊田佐吉記念館」（43.3%）の順となっています。



設問15 あなたは下記の文化財（史跡・建造物）でこれが国・県または市の指定文化財であると知っているものはどれですか。（〇はいくつでも）

◆「新居関跡（新居）」が9割

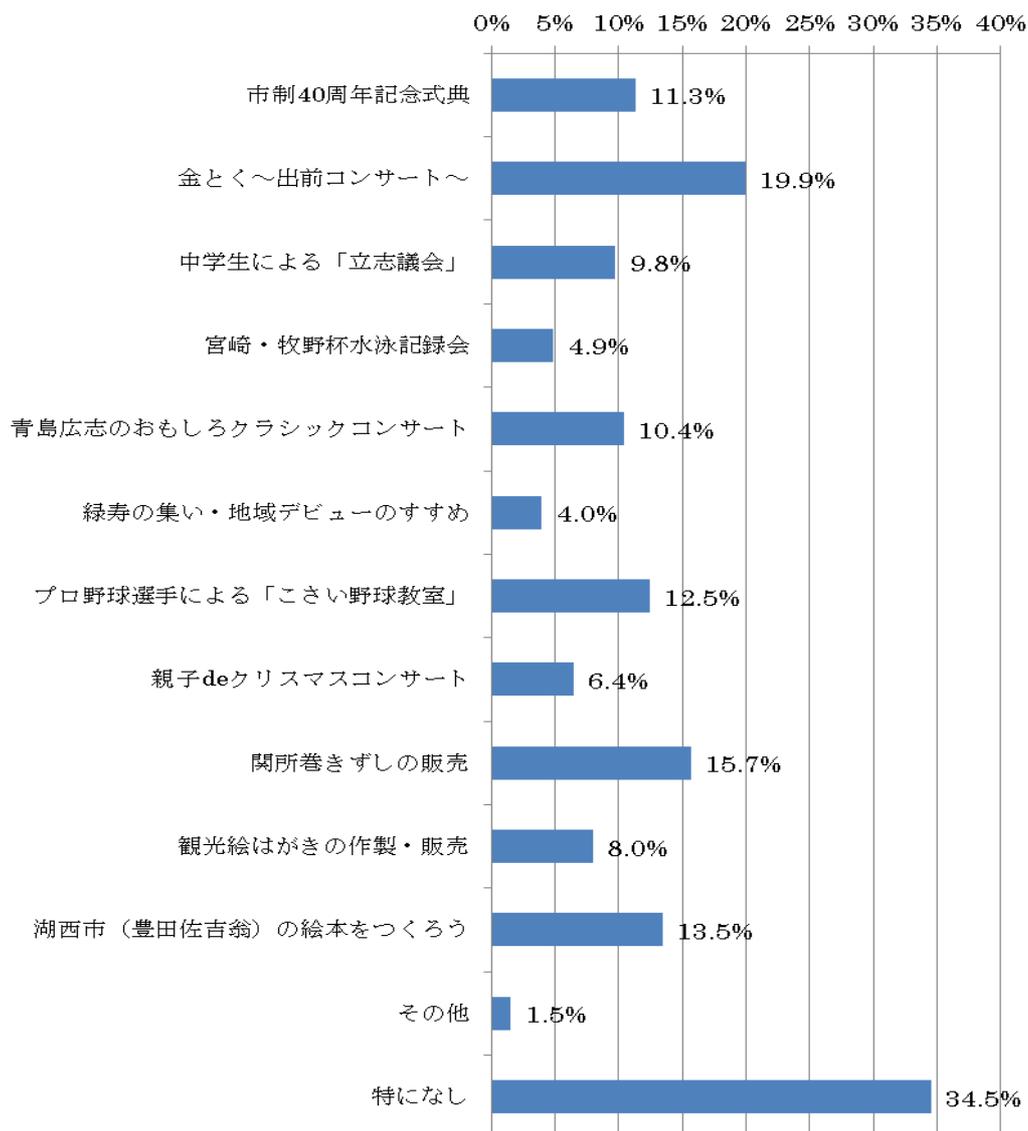
「新居関跡（新居）」（90.1%）で最も知られており、「本興寺本堂、奥書院など（鷺津）」「豊田佐吉邸（山口）」が6割を超えています。



設問16 あなたは、市制40周年記念として実施した事業の中で、印象深かったもの・楽しかったもの・今後も実施してほしいものはどれですか。(〇はいくつでも)

◆「金とく～出前コンサート」が2割

市制40周年記念事業では、「金とく～出前コンサート」(19.9%)で最も高く、次いで「関所巻きずし販売」(15.7%)「湖西市(豊田佐吉翁)の絵本をつくろう」(13.5%)の順となっています。



【複数回答】

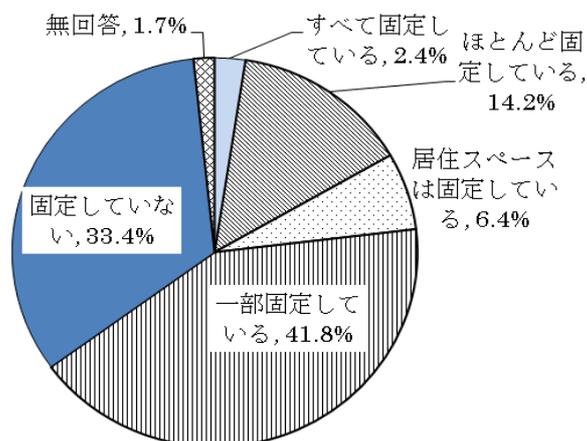
5 防災について

設問17 あなたのお住まいでは、家具類や冷蔵庫などを転倒防止のために固定していますか。(〇は1つ)

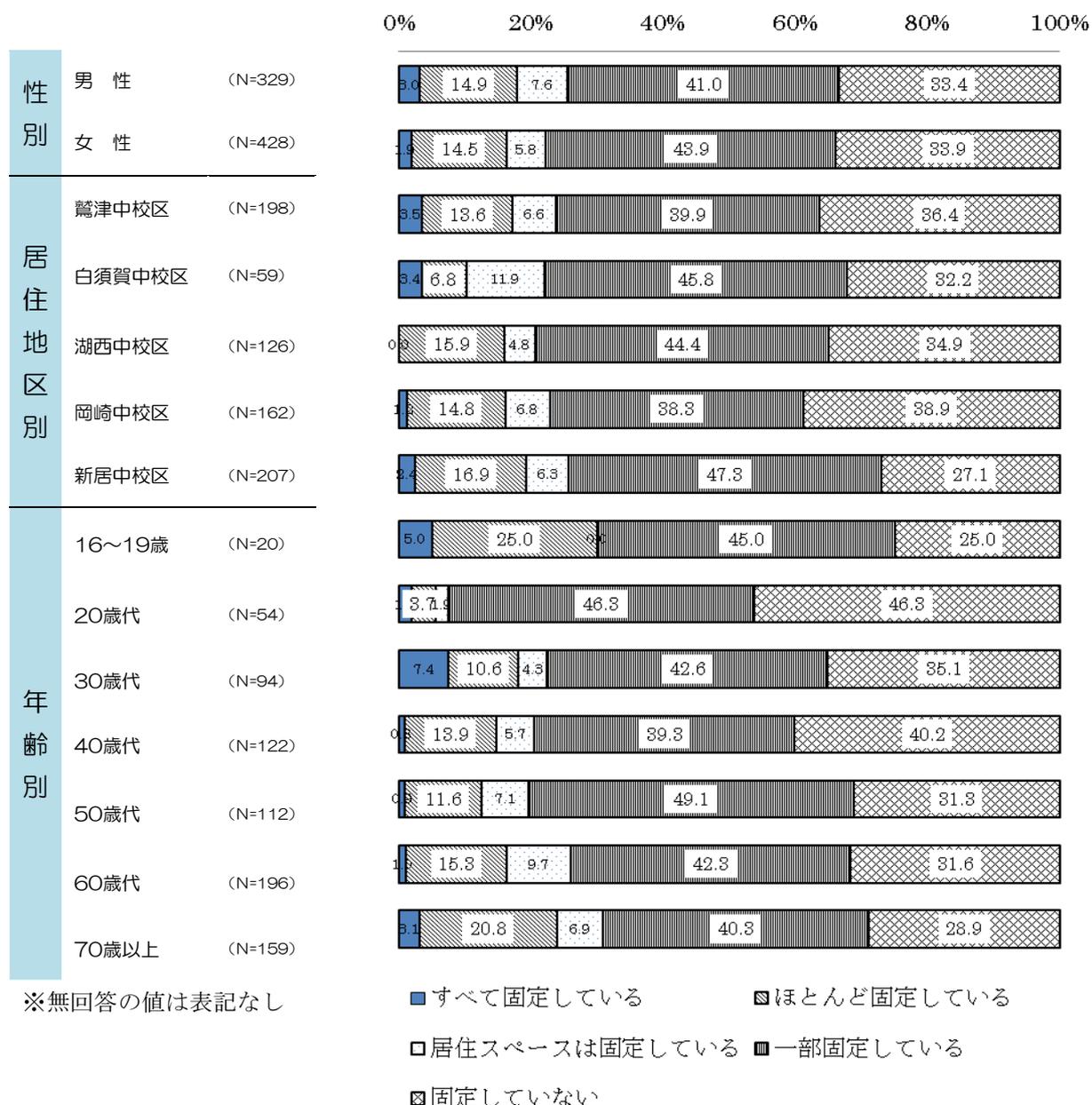
◆ 家具などの転倒防止対策 「固定していない」が 33%

全体で見ると「すべて固定している」(2.4%)、「ほとんど固定している」(14.2%)、「居住スペースは固定している」(6.4%)、「一部固定している」(41.8%)を合わせた『固定している』(64.8%)となっています。

一方、「固定していない」(33.4%)は3割を超えています。



すべて固定している	19人	2.4%
ほとんど固定している	111人	14.2%
居住スペースは固定している	50人	6.4%
一部固定している	326人	41.8%
固定していない	260人	33.4%
無回答	13人	1.7%



◆居住地区別

「性別」でみると、男女による大きな差はみられず、男性・女性とも約66%の市民が『固定している』としています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、新居中学校区で『固定している』が72.9%と最も高くなっています。一方、岡崎中学校区は61.1%となっています。

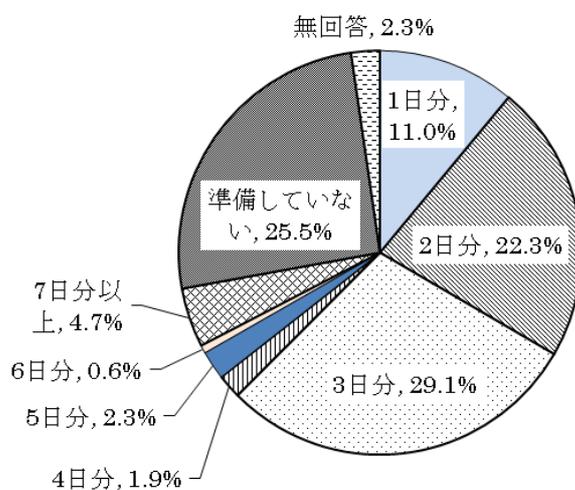
◆年齢別

「年齢別」でみると、『固定している』は16~19歳、70歳代で70%を超えています。40歳代は約60%となっています。

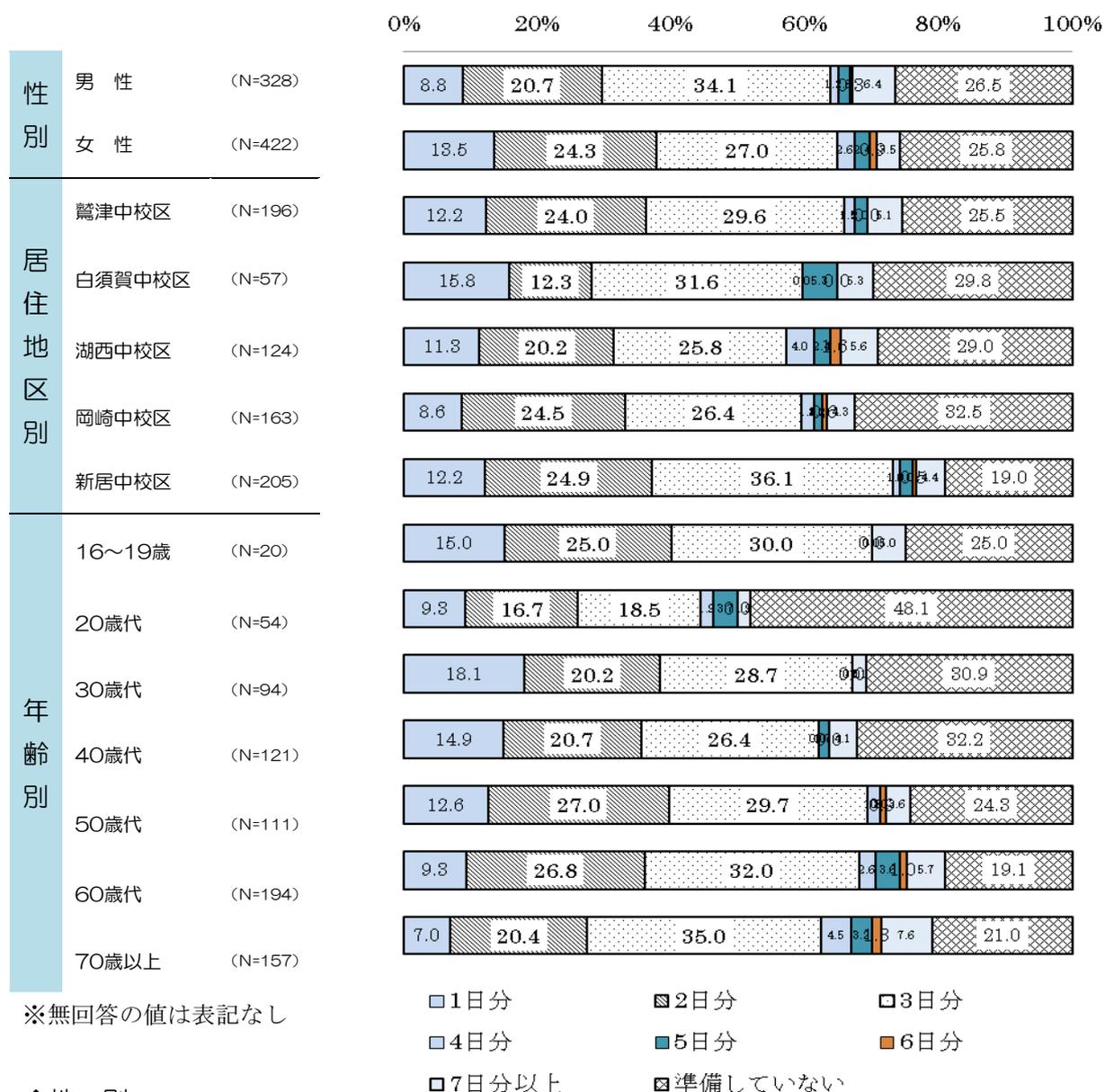
設問18 あなたのお住まいでは、震災に備えて何日分の食糧、飲料水を準備していますか。(○は1つ) ※飲料水 1人1日

◆ 「3日分」がほぼ3割で最も多い

全体で見ると「3日分」(29.1%)が最も多くなっています。次いで「2日分」(22.3%)、「1日分」(11.0%)となっています。「4日分」以上は合計で9.5%となっています。一方、「準備していない」(25.5%)となっています。



1日分	86人	11.0%
2日分	174人	22.3%
3日分	227人	29.1%
4日分	15人	1.9%
5日分	18人	2.3%
6日分	5人	0.6%
7日分以上	37人	4.7%
準備していない	199人	25.5%
無回答	18人	2.3%



◆性別

「性別」で見ると、「3日分」の食糧、飲料水の準備が最も多く、男性が34.1%と女性の27.0%より高くなっています。

◆居住地区別

「居住地区別」で見ると、新居中学校区で「3日分」が36.1%と最も高く、次いで白須賀中学校区で31.6%となっています。

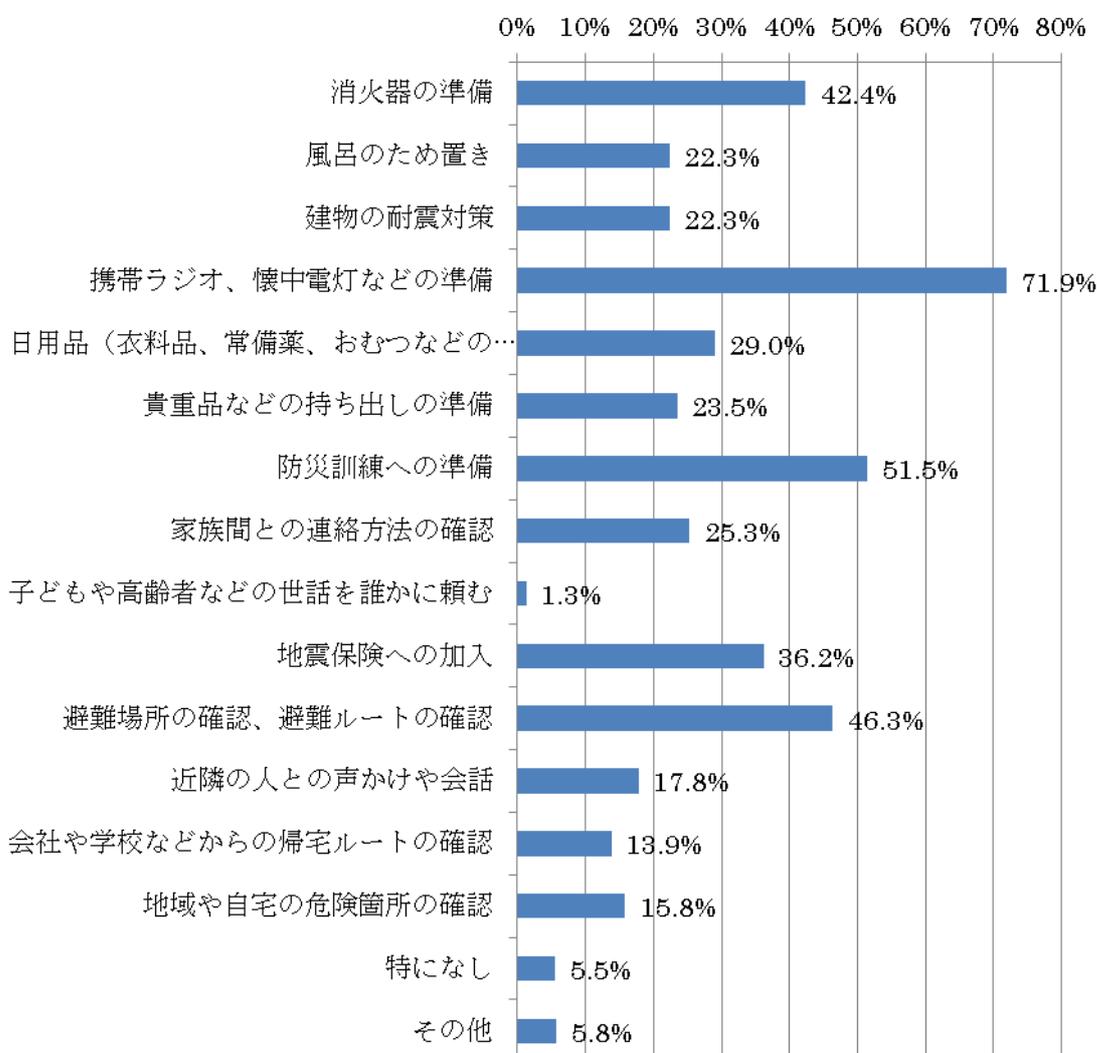
◆年齢別

「年齢別」で見ると、70歳以上で「3日分」が35.0%と最も高くなっています。一方、20歳代は18.5%と低く、「準備していない」も48.1%となっています。

設問19 家具等の転倒防止や食糧などの準備以外の対策について、お伺いします。あなたやあなたの家族は、震災があった場合に備えて、どのような対策をしていますか。（〇はいくつでも）

◆「携帯ラジオ・懐中電灯などの準備」が7割を超える

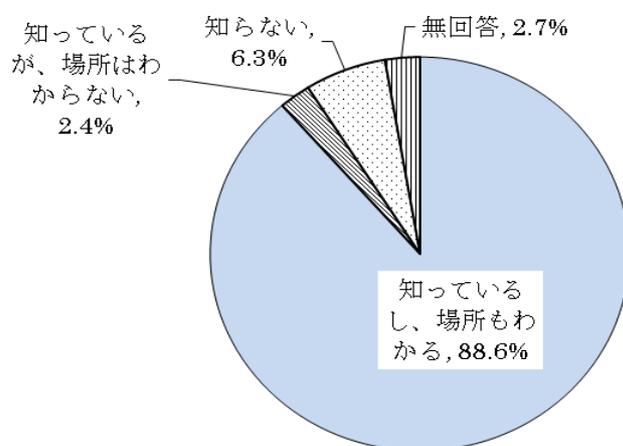
震災があった場合に備えた対策は、「携帯ラジオ・懐中電灯などの準備」（71.9%）と最も多く、次いで「防災訓練への準備」（51.5%）、「避難場所の確認、避難ルートの確認」（46.3%）となっています。



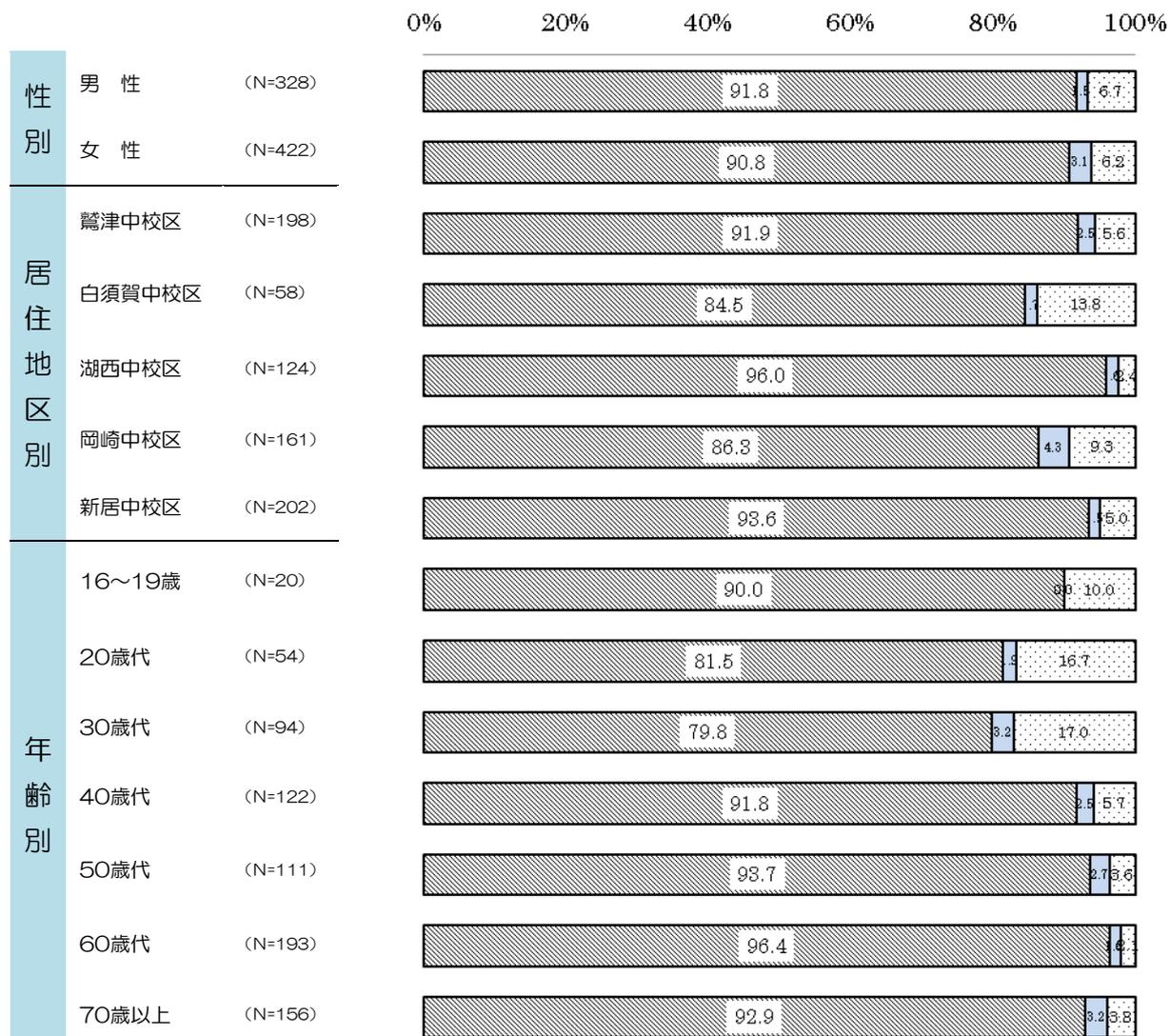
設問 20 あなたは、震災が発生した場合、ご自分の避難場所について
知っていますか。(〇は1つ)

◆ 避難場所「知っているし、場所もわかる」が9割

全体で見ると「知っているし、場所もわかる」(88.6%)と最も多くなっています。
一方、「知っているが、場所はわからない」(2.4%)、「知らない」(6.3%)を合わせた『避難場所がわからない』は8.7%となっています。



知っているし、場所もわかる	690人	88.6%
知っているが、場所はわからない	19人	2.4%
知らない	49人	6.3%
無回答	21人	2.7%



※無回答の値は表記なし

- 知っているし、場所もわかる
- 知っているが、場所はわからない
- 知らない

◆性別

「性別」でみると、男女による大きな差はみられず、男性・女性とも避難場所を「知っているし、場所もわかる」割合が90%を超えています。

◆居住地区別

「居住地区別」でみると、湖西中学校区で避難場所を「知っているし、場所もわかる」割合が96.0%と最も高くなっています。

◆年齢別

「年齢別」でみると、60歳代で避難場所を「知っているし、場所もわかる」割合が96.4%と最も高くなっています。一方、30歳代は80%を下回っています。